人が育み、仕事を育む
学びの島づくり
離島からの挑戦
「自立・挑戦・交流・継承・団結」
～心ひとつに　みんなでしゃばる島づくり～

隠岐諸島
全国6,852島
有人島:422
哈尔滨
黑龙江
吉林
辽宁
北京
天津
河北
北朝鮮
평양
서울
韓国
부산
日本海
札幌
日本
東京
名古屋
大阪
広島
福岡
山东
江苏
南京
上海
苏州
杭州
安徽
武汉
浙江
江西
福建
臺北
東シナ海

島の交通

本土から高速船で約1時間、フェリーで約2～3時間。

冬場は季節風が強く吹き荒れ、船が欠航して孤島化することも珍しくなく、地理的ハンディキャップは大きい。

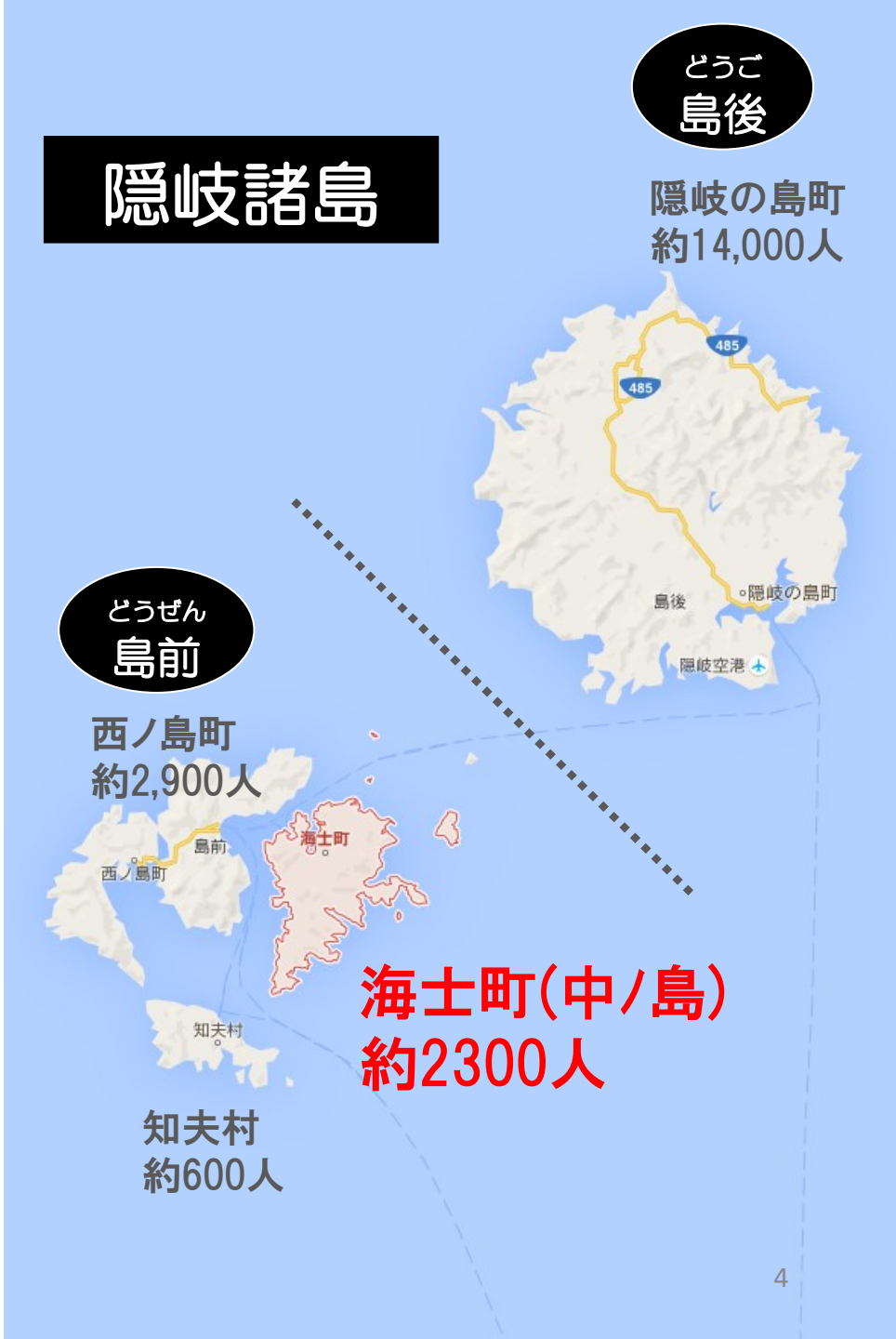
海士町

日本海の島根半島沖合約60Kmに浮かぶ隠岐諸島の中の一つ中ノ島を「海士町」といい1島1町の小さな島。（面積33.46k㎡、周囲89.1km）

1963年　大山隠岐国立公園指定
1985年　「天川の水」日本の名水百選指定
1997年　海域公園指定（環境省）
2009年　日本で最も美しい村連合加盟
2013年　【隠岐】世界ジオパークに認定

the most beautiful villages in japan

OKI Islands Global Geopark
隠岐世界ジオパーク



半農半漁の島

対馬暖流の影響を受けた豊かな海と、名水百選に選ばれた豊富な湧水に恵まれ、自給自足のできる半農半漁の島。

御食つ國　海士

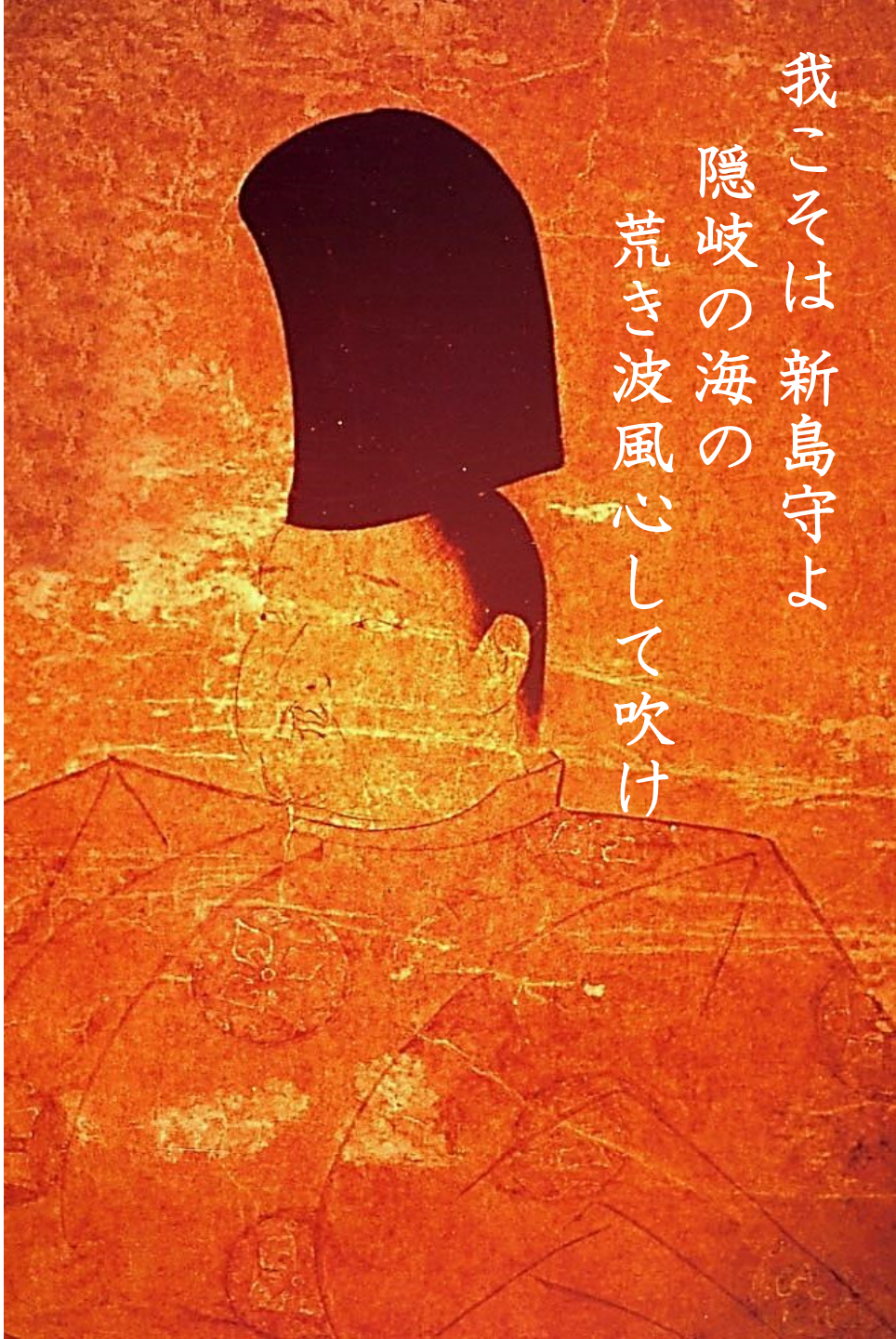
平城京跡から隠岐國・海士の「干しアワビ」等が献上されていたことを示す木簡が発見される。

※御食つ國：朝廷に海産物を中心とした御食料を貢いだと推定される国。

後鳥羽上皇

承久三年（1221年）
隠岐國・海士へ御配流に。

奈良時代から遠流の地として遣唐副使の小野篁をはじめ、承久の乱(1221年)に敗れ、ご配流の身となられた後鳥羽上皇は、在島19年余、この島で生涯を終えられ、島民の畏敬の念はいまなお深い。



小泉 八雲

（ラフカディオ・ハーン）

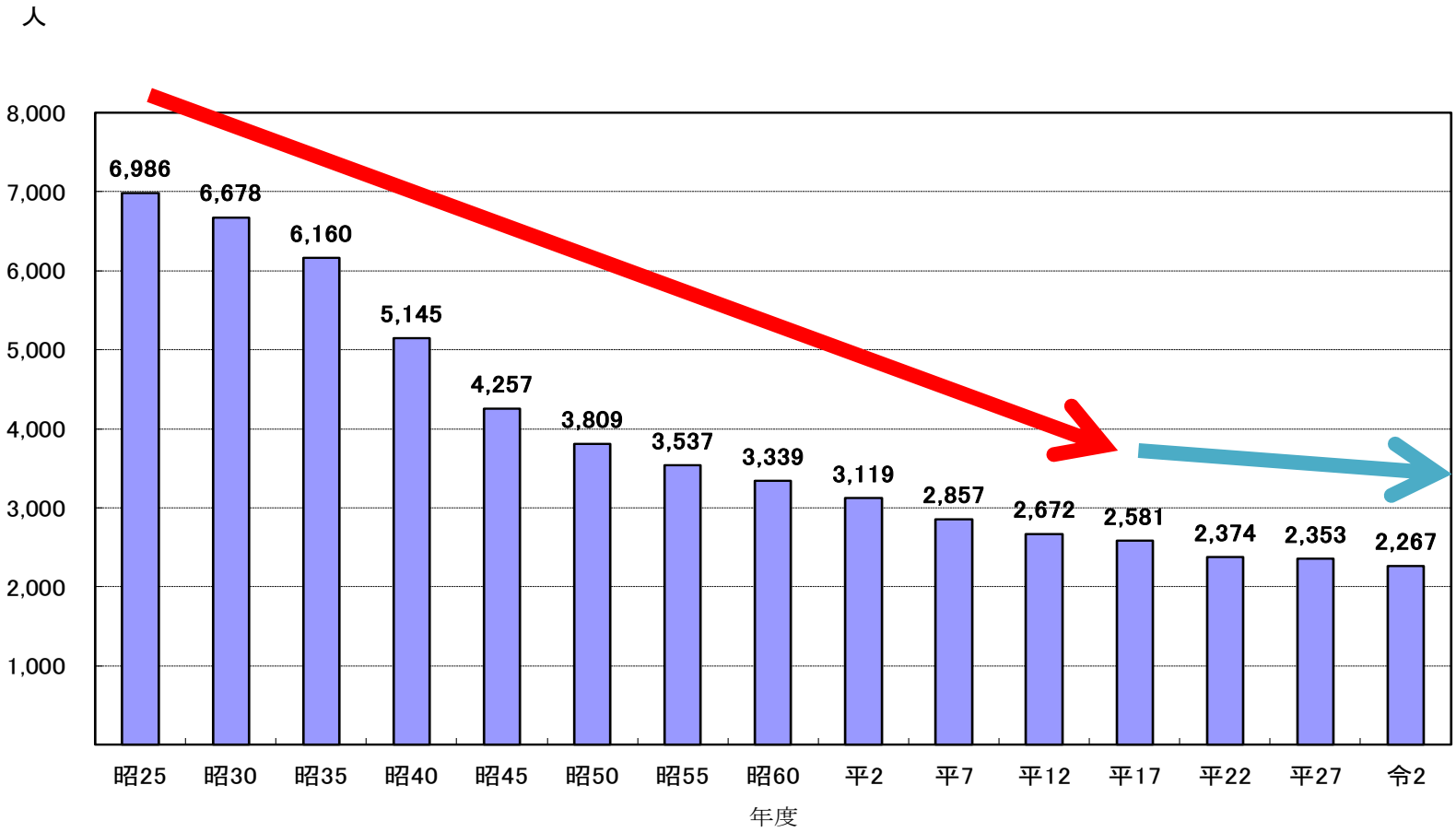
海士・菱浦港を愛し
「鏡ヶ浦」と名付けた。

明治25年、妻セツと来島。文豪、小泉八雲は、隠岐旅行の際「菱浦港」を最も気に入り滞在された。

海士は、その昔より「よそ者」に対するホスピタリティに富んだ土地柄であったようである。

人口の推移（国勢調査より）

戦後、約7,000人いた人口は、70年間で3分の1に。

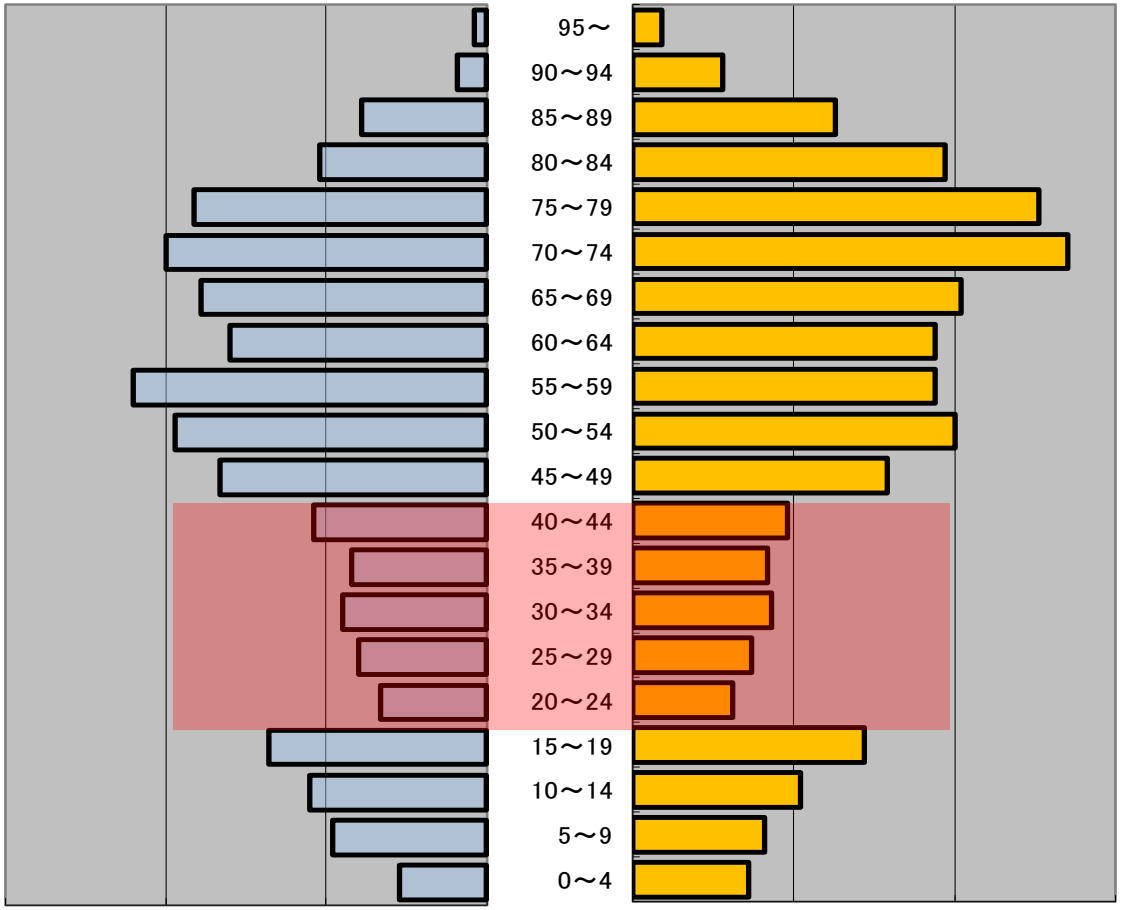


※R4.8.2現在　住基人口　2,317人

人口構成

高校卒業後、ほとんどが島外へ。20～40歳代前半
地域活力が極めて低く、高齢化率は38％

《人口の構成》

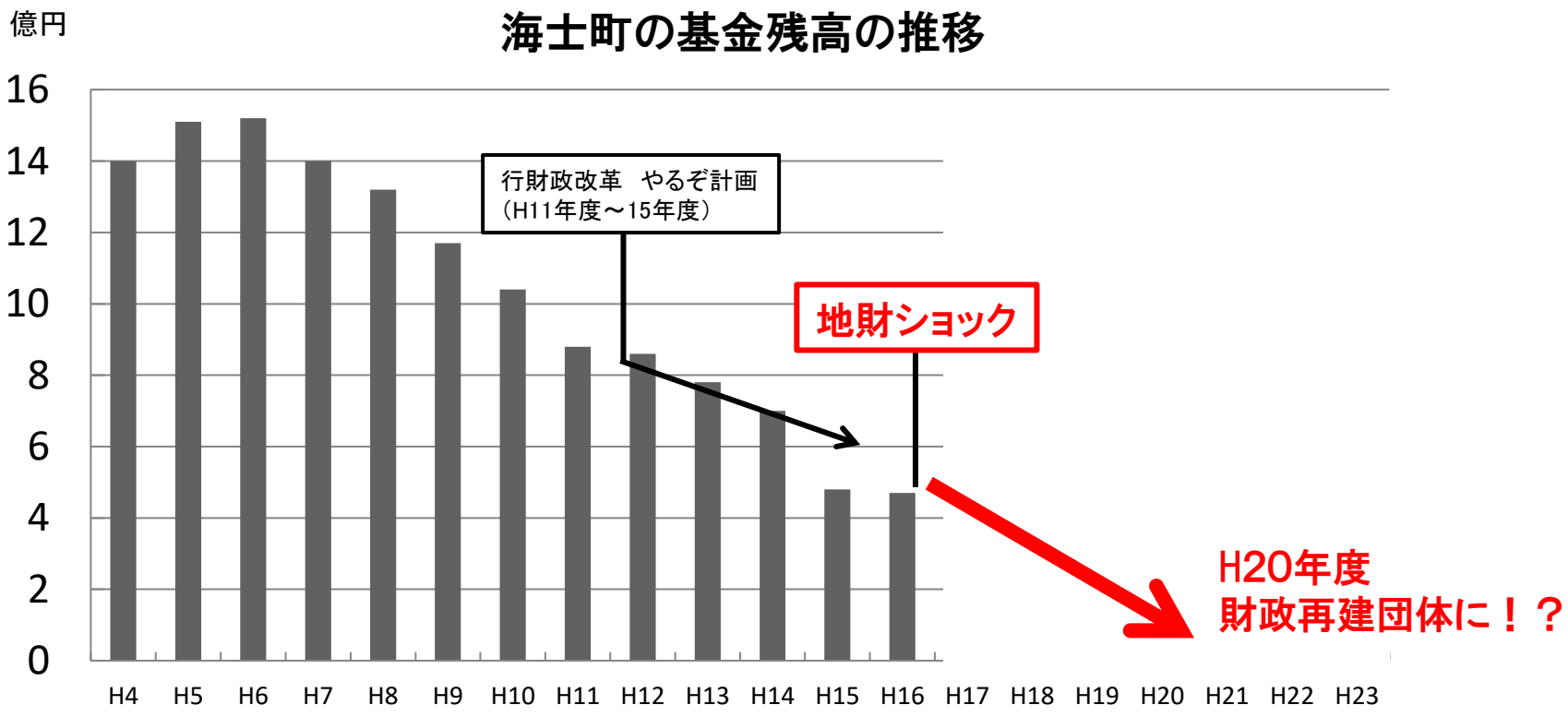


《公共事業で生きてきた島、生かされてきた島》

◆国の経済対策に呼応した公共事業への投資で社会資本は整備された・・・・・・（離島振興法）

◆その結果、住民の暮らしは改善されたが、一方で体力以上に膨らんだ地方債

●平成13年度末約101.5億円ピーク）　●平成15年度末約95億円



当時のシミュレーションでは、平成20年度には確実に「財政再建団体」へ転落の危機が予測された。

人口減少
超少子高齢化
超財政難

この島の現状は日本の未来

島は社会の縮図

島に日本の未来を創るヒントがある！

覚悟の単独町制を決断

平成の「大合併の嵐」が吹く中で、H15年12月任意合併協議会を解散。

「**自分たちの島は自ら守り、島の未来は自ら築く**」

という住民や職員の地域への「誇り」と「気概」が、「自立への道」を 選択させた。

※それは自治の原点である。

自立促進プランを策定

まちづくりのキーワード

自立・挑戦・交流

自立への挑戦

生き残りをかけた「守り」と「攻め」の両面作戦を展開

自立促進プランに基づき、行財政改革を大胆に実行し、「守り」を固める一方で、「攻め」の方策として、新たな産業創出（雇用創出）を強力に推進する。

生き残るための「守り」の戦略

自らの身を削らない改革は

支持されない

過去に例のない徹底した

行財政改革の断行

生き残るための「守り」の戦略　行財政改革の断行

自らの身を削らない改革は支持されない！

人件費の削減効果（H17）約2億円。

給料・報酬カット

三　役　　▲50%～40%
職　員　　▲30%～16%

平均22%▲、
ラスパイレス指数72.4
→日本一給料の安い公務員に！

議　員　　▲40%
教育委員　▲40%
区　長　　▲10%

給与・報酬カットによって

・老人クラブ等ーバス料金値上げ、
補助金返上

・各種委員ー日当減額申し入れ

・給与カットの一部で
「子育て支援」を後押し
→出産祝金、保育料無料化等
人件費の5%を目的化

参考　子育て支援条例

議員・職員などの給与カットで、子育て支援の財源を賄う。

<table>
<tr><td rowspan="2">1、結婚祝金</td><td colspan="3">結婚後、海士町に在住し、引き続き定住の意志を持つ者</td></tr>
<tr><td>支給額</td><td colspan="2">100，000円（1人50，000円）1人1回限り</td></tr>
<tr><td rowspan="6">2、すこやか祝金</td><td colspan="3">海士町に在住し引き続き定住の意志を持つ者が出産した時</td></tr>
<tr><td rowspan="5">支給額</td><td>子どもの数</td><td>支給額</td></tr>
<tr><td>1人目</td><td>100，000円</td></tr>
<tr><td>2人目</td><td>200，000円</td></tr>
<tr><td>3人目</td><td>500，000円</td></tr>
<tr><td>4人目以上</td><td>1，000，000円</td></tr>
<tr><td rowspan="4">3、妊娠・出産、子供の通院に係る交通費等助成</td><td colspan="2">妊娠中の定期検診</td><td rowspan="4">・1回当たりの交通費
・宿泊費
・健診費</td></tr>
<tr><td colspan="2">町外出身者の里帰り出産</td></tr>
<tr><td colspan="2">不妊治療のために通院</td></tr>
<tr><td colspan="2">18歳以下の子どもの精密検査等に係る通院</td></tr>
</table>

4、保育料軽減
5、チャイルドシート購入費助成
6、転入児童生徒等奨励金
7、乳児医療

生き残るための「攻め」の戦略

一点突破型 産業振興策

島の新産業創出事業により、加工産業を軸とした雇用創出

島まるごとブランド化

・地域再生計画の認定（H16,H17,H21,H25）

・構造改革特区の認定（H16）

・農商工連携88選認定（H20）

《攻めの実行部隊　365日勤務体制》

～島の駅　キンニャモニャセンター～

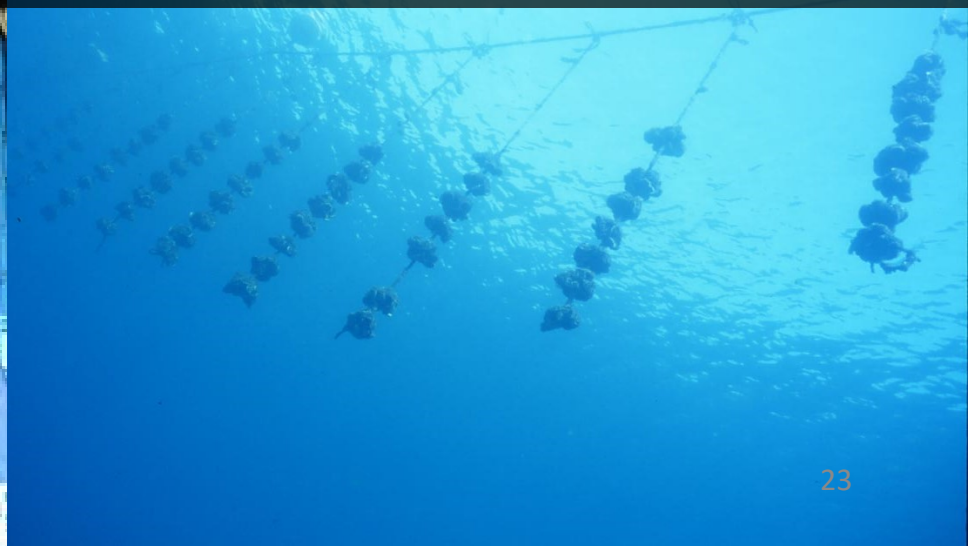
役場の産業機能を本庁から完全に切り離し、キンニャモニャセンターに産業三課を設置

☆出会い・定住の促進	→	交流促進課
☆本土外貨の獲得	→	地産地商課
☆新産業、雇用創出	→	産業創出課

01 隠岐の食文化の代表格 島じゃ常識サザエカレー

02 全国初の養殖化に成功！ いわがき春香

3年の歳月をかけ、丹念に育てられる。
築地では最高値！
首都圏オイスターバーでも大ヒット！



03 鮮度・流通に悩む、離島ハンデを克服。自治体初! CASシステム導入

細胞を破壊しない新冷凍技術CASを導入
CAS凍結センターH17年度稼働

新商品

海鮮フライ

開発！

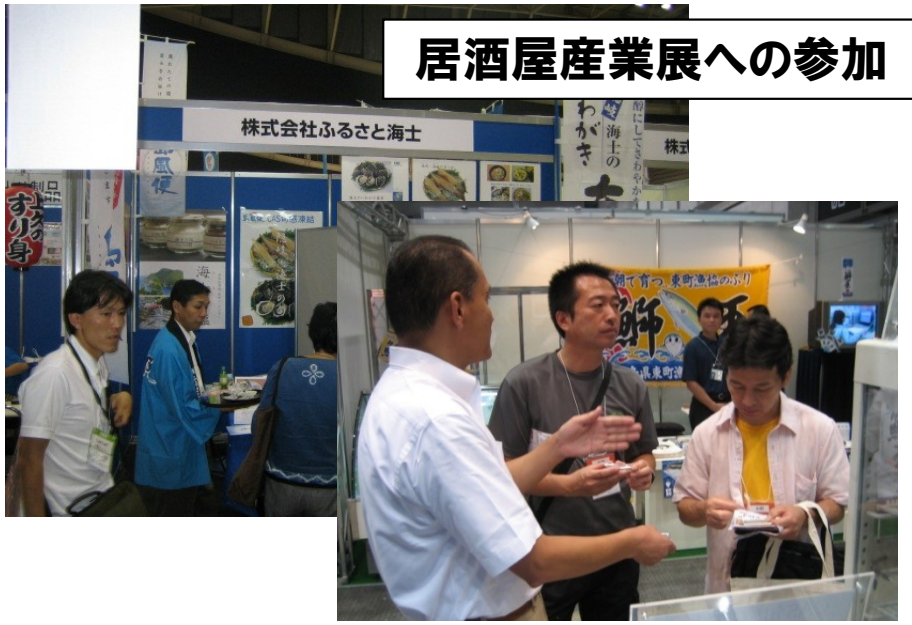
イカのゲソ・耳から揚げ

いわがきグラタン

ひおうぎ貝ドリア

首都圏イベント会場を転々と！

離島キッチンカー（移動販売車）



居酒屋産業展への参加

PR活動

商談活動

第3回全国ご当地どんぶり　選手権大会in東京ドーム

CAS商品「寒シマメ漬け丼」
第7位、9位にランク

取引先でのイベント開催

Foodex　Japanへの参加

04 島生まれ、島育ち 隠岐牛のブランド化

建設業から農畜産業へ異業種参入（構造改革特区導入～農地法規制緩和））

ミネラル豊富な放牧地で育ち、
病気に強い、幻の黒毛和牛。

PR活動

東京食肉市場関係者との
品質向上研修会を実施

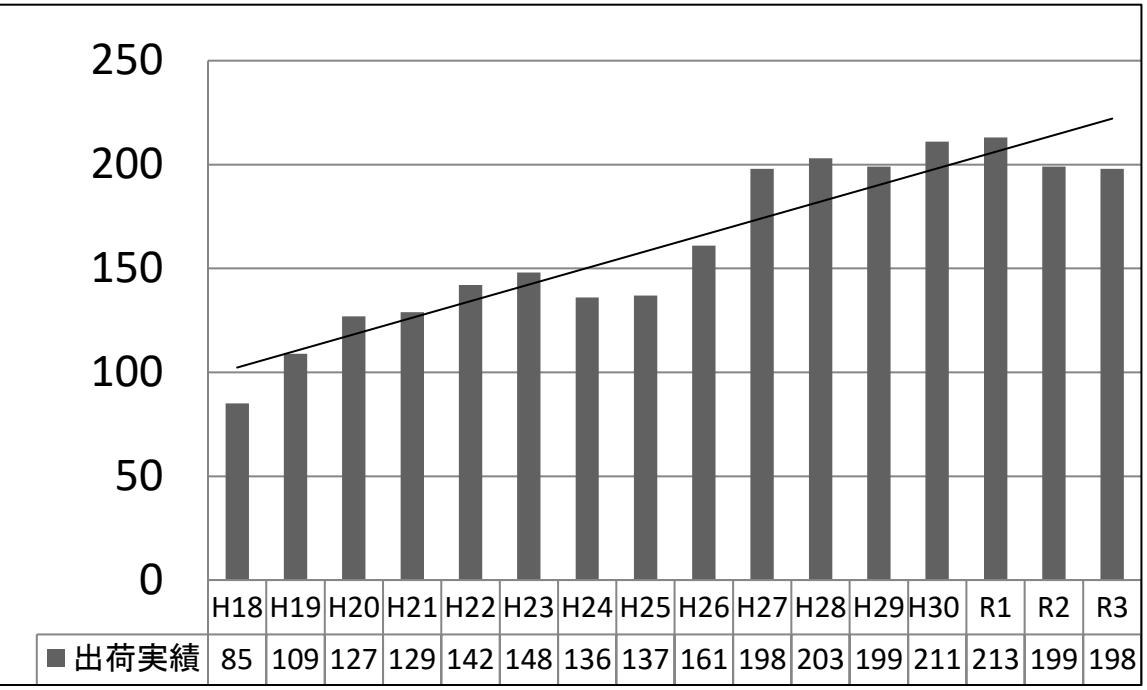
東京食肉市場関係者を
招いて産地で研修会

市場関係者との
信頼構築

首都圏高級スーパーでの
PRイベント

エバラ食品との連携

出荷実績



	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
■出荷実績	85	109	127	129	142	148	136	137	161	198	203	199	211	213	199	198

A-5率 ：44%(R4:65%)

※黒毛和種　雌牛クラス

上物率:83%(R4:93%)

※上物(A-4&A-5)

枝肉最高値:4,205円 / kg

枝肉平均地:2,294円 / kg

平均価格:989,651円 / 頭

出荷頭数計:2,595頭

出荷頭数　月12頭→月24頭(288頭/年)の倍増計画を目指す。

隠岐牛の波及効果

U･Iターン者6名が繁殖和牛に新規参入

隠岐島内の建設業者3社が畜産業に参入

05 原料は保々見湾の海水のみ 海士乃塩

海士御塩司所。伝統の「塩」づくりが若者によって復活。継承される技。

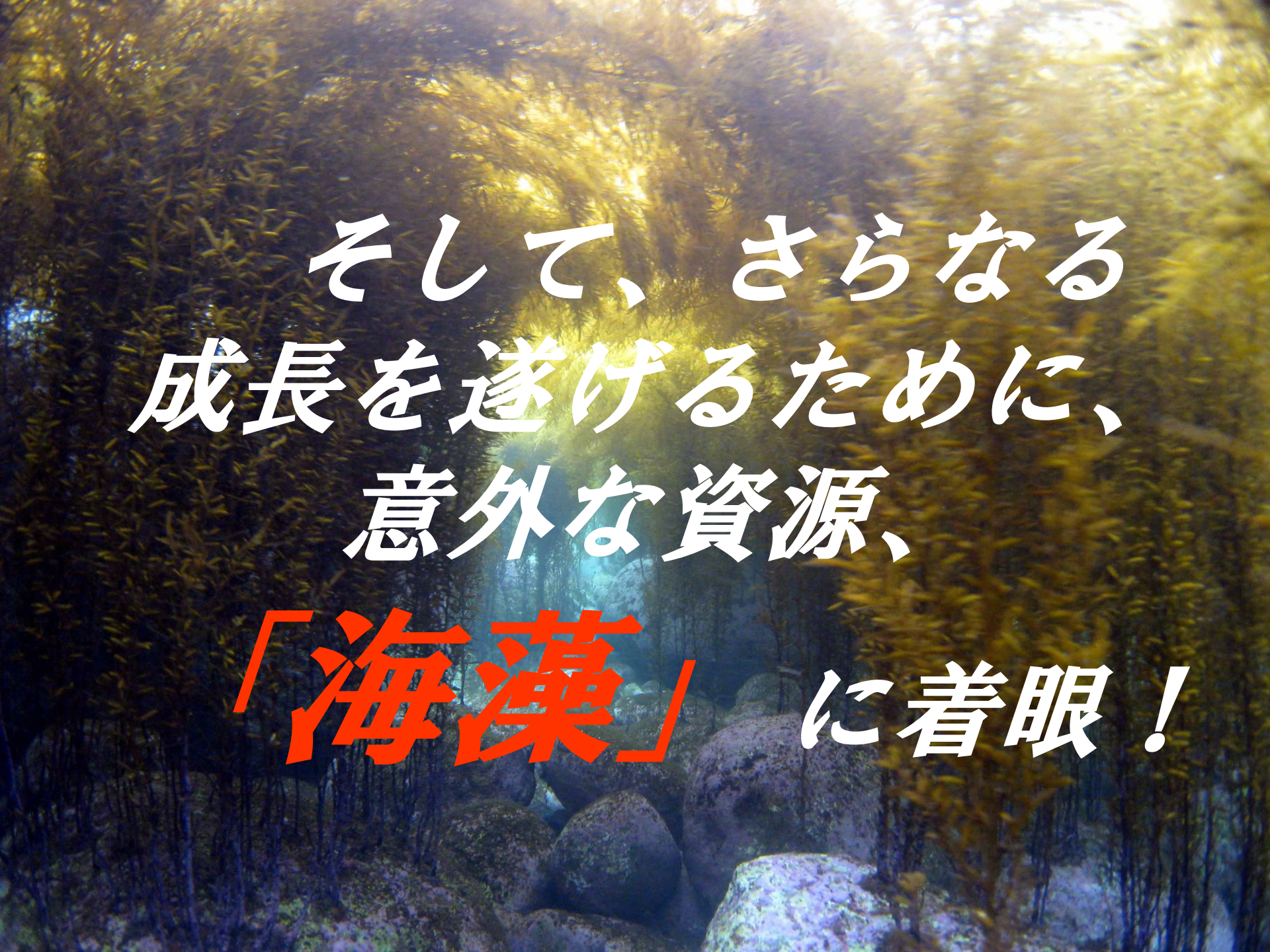
海士乃塩から始まる 産品づくり

06 海士の原風景を守るために
海士の本氣米

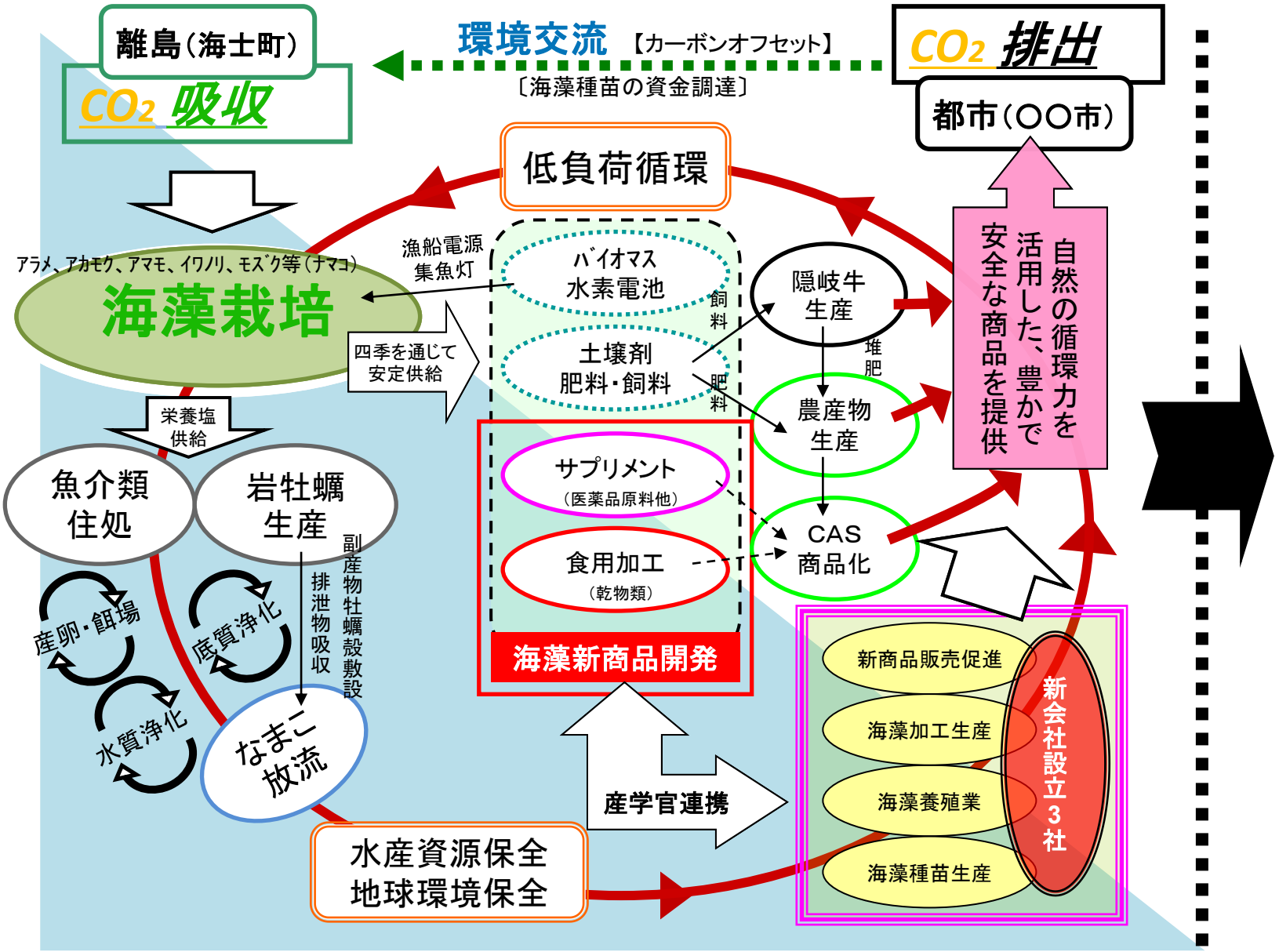
Photo By Hiroshi Sakino

「島生まれ、島育ち隠岐牛」と「いわがき春香」の
恵みで育てた 島のこしひかり

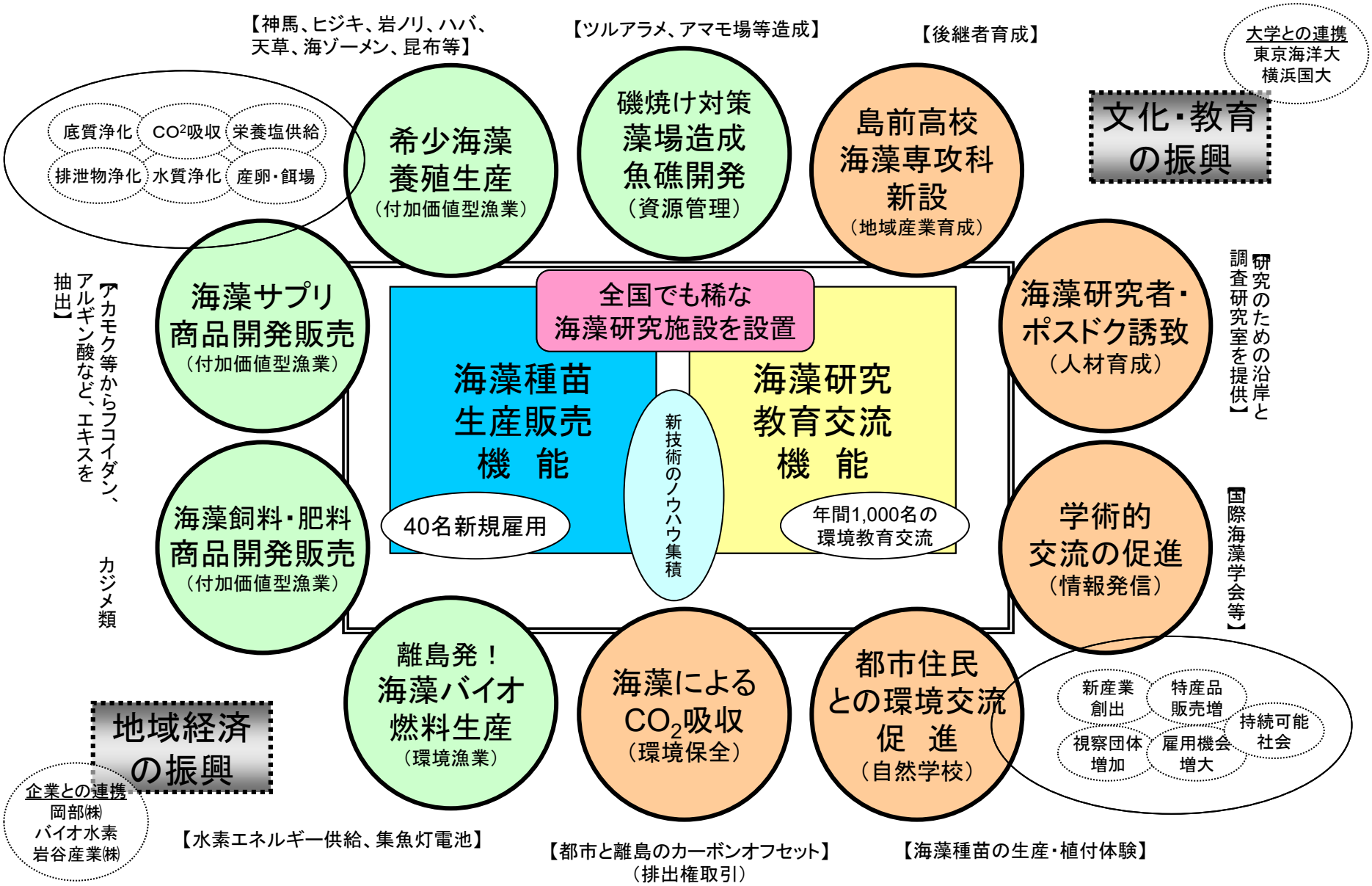
ないものはない
島根県
隠岐國
海士町
本氣
海士が本氣を
出しました。


そして、さらなる
成長を遂げるために、
意外な資源、
「海藻」に着眼！

「～環境型新漁業創造に向けた離島発！6次産業化事業の展開～」



循環型新漁業創造に向けた離島発！6次産業化の展開



一点突破型 産業振興策　ICT

ICT利活用・デジタルサイネージでPR
住民が産地のこだわりを映像化・配信

一点突破型 産業振興策 ICT

首都圏の居酒屋・オイスターバー
8店舗の客室にディスプレイを設置

朝日 2009年(平成21年)3月9日 月曜日 10版 島根 島根26

島根

海士町 映像ネット配信 都会へ

都市へ情報を発信して交流を広げようと、海士町は、東京都内の飲食店に設置したディスプレーに、島内の風景や魚介類などの食材を紹介する映像をインターネットで配信する取り組みを始めた。店内で映像を見た人から口コミで話題を広げてもらい、観光や地域の活性化につなげるのがねらいだ。（飯塚 恵）

風景や海の食材紹介

海士町の風景や魚介類などを紹介する映像を映し出すディスプレーが置かれた店＝東京都新宿区四谷

東京都新宿区四谷の島根郷土料理の店「主水」。昨年12月、座敷とテーブル席の4カ所に、ディスプレー4台を設置し、海士町の近海で漁師が白イカを引き上げる姿やイワガキを網の上で焼く様子を音声とともに放映している。

食事をしながら同店で提供する県産の食材や観光に興味をもってもらうねらいだ。

画面に映し出される携帯電話向けの「QRコード」を読み取って、詳しい情報を載せたインターネットサイトに接続することも可能で、ディスプレー前の席を選んで座る客もいるという。

戸田勇二店長(36)は、「隠岐の海など産地の映像を見ながら料理を紹介できるし、会話もはずむとお客さんにも喜ばれています」と話している。

ディスプレーはこのほか、千代田区神田の飲食店と海士町福井に設置し、同様の映像を配信中だ。

◇

この取り組みは、総務省が07年に公募した「地域ICT利活用モデル構築事業」の一環。海士町は京都府宮津市と互いに連携して交流・観光のテーマで映像配信のシステム開発を進める。07～09年度は試験運用期間で、これまでに約7400万円の委託費を海士町に交付した。

宮津市と海士町は、無料の会員登録をすれば、全国どこからでも閲覧、投稿ができるインターネットサイト「LOCOMI.jp」を立ち上げた。

海士町では町の担当者らが撮影した養殖中のイワガキの海中の映像や隠岐牛の飼育風景などを撮影し、映像を見やすいように編集し投稿。東京都内の飲食店に設置したディスプレーなどに表示する映像を選び、配信している。

現在は、町職員が知り合いを通じて住民に映像提供を呼びかけている段階だが、住民から、自分で撮影して島の良さを紹介したいという要望もあるという。今後は撮影などを指導する講習会を開き、ビデオカメラを住民に預け、住民ディレクターとして活躍してもらうことを目指している。

映像編集を担当する同町産業創出課の山口幸二さん(50)は「島を知ってもらえるよう地域の顔が見える映像を撮影して、町の活性化につなげたい。島の若い人にも撮影を呼びかけ、町だけでなく個人の商品販売のPRにも活用してほしい」と話している。

10年度以降は、海士町など自治体の自主運営になるため、他の自治体や企業が製作した映像を配信し、町は広告料で収入を得ることをめざすという。同課の大江和彦課長は「今後、ディスプレーを増やし、海士町や島根県の自然や特産品に興味を持ってもらい、観光客を誘致したい。将来的にはさまざまな地域の映像を配信できるようにしたい」と話している。

山陰名産 あご野焼・あご干物
長岡屋 茂助
■白潟店 TEL(0852)27-8911 FAX(0852)27-6651
■北堀店 TEL(0852)24-5577
■工場・直売本店 TEL(0852)27-2311

松江総局 松江市南田町32 ☎0852(23)3330 FAX(27)2308
浜田支局 浜田市殿町88-3 ☎0855(22)0442
出雲支局0853(21)0414
益田支局0856(22)0508
大田支局0854(82)0419
購読のお申し込みは 0120－33－0843 (7:00～21:00)
購読・配達のご用は
松江南 (24)3729
出雲北 (23)1611
安来 (22)6596
大社 (53)2227
斐川 (72)0421
西郷 (2)0702
※上記以外は近くのASAへ
広告のご用は
松江 (26)8180

東京の飲食店などで放映 「会話がはずむ」好評

島の岩ガキ・和牛など映像中継▼▼都内で注文増

島根県隠岐諸島の海士町が平成19年度から3年間、総務省から受託した地域ICT（情報通信技術）事業を軌道に乗せ、注目を集めている。離島の模様を情報発信する「海士と東京との双方向メディア」として都内の飲食店など8カ所に22台のディスプレーを設置。光回線でつないだ中継や映像配信を実施し、町の活性化につなげているからだ。22年度以降は自主運営となるため、ほかの離島や企業との連携を目指す。

この取り組みは、総務省が19年度に公募した「地域ICT利活用モデル構築事業」の一環で、3年間に1億3710万円の委託費が町に交付された。

養殖中の岩ガキや隠岐固有の黒毛和牛・隠岐牛の放牧風景を町の担当者らが撮影、編集して配信。ディスプレーを設置している東京都千代田区の島根郷土料理店「主水」では岩ガキの旬ではない時期に、瞬間凍結技術で解凍後も鮮度の保たれる映像を流した結果、通年で岩ガキの注文が入るようになった。ビジネスマンなどが多い同区内のカフェも町のアンテナショップと光回線でつなぎ、海産物の中継を行っている。

こうした成果を今月2日に都内で発表した山内道雄町長(71)は「情報発信によって地場産品を販売する第三セクター『ふるさと海士』は目標より1年前倒しで単年度黒字を達成し、島の産業がうるおい始めた。今後もICTを活用し、首都圏にアピールしたい」などと話した。

地域ICT 沸く隠岐

2010年3/8 産経

海士町の海産物を映像で紹介するディスプレーに見入る来店客＝東京都千代田区の島根郷土料理店「主水」

離島キッチンが
神楽坂に。（2015年9月オープン）

2016年8月、銀座6丁目に隠岐牛料理を中心とした高級和食店をオープン！

島生れ島育ち隠岐牛

銀座 Cotohi

日本料理『しち十二候』

一点突破型 産業振興策　これまでの成果

初年度に比べ、どの産業も販売高や雇用者数が着実に増加。

コロナ禍前

産業	項目	初年度	⇒	H30年度
いわがき 春香（H14～）	販売個数	61,000個	⇒	270,070個
	販売高	15,000千円	⇒	59,984千円
	雇用者数 ※パート含む	13人	⇒	21人
農水産物直売所 関連施設 （H14～）※塩含む	販売高	125,000千円	⇒	143,364千円
	雇用者数 ※パート含む	12名	⇒	20名
CAS 商品（H17～）	販売高	27,000千円	⇒	209,726千円
	雇用者数 ※パート含む	18名	⇒	25名
隠岐牛（H18～） ※肥育牛のみ	販売高	55,000千円	⇒	232,533千円
	雇用者数 ※パート含む	6名	⇒	12名

交流

若者・よそ者・バカ者が

島おこしの起爆剤

若者たちの挑戦

～自らステージを創る～

頭角を現すリーダー達

立ち上がる若者

Iターン×Uターンで活性化

交流　AMAワゴン

AMAワゴンによって、まちづくりに関心を持つ若者の育成、新たな海士ファン層の獲得につながった。

東京からワゴンを走らせ20～30人の学生と若手社会人が海士町へ。出前授業や海士町を体験し、町の課題解決の提案する。

島の宝探しで大活躍
商品開発研修生

商品開発研修生

〇〇〇〇（〇〇県）

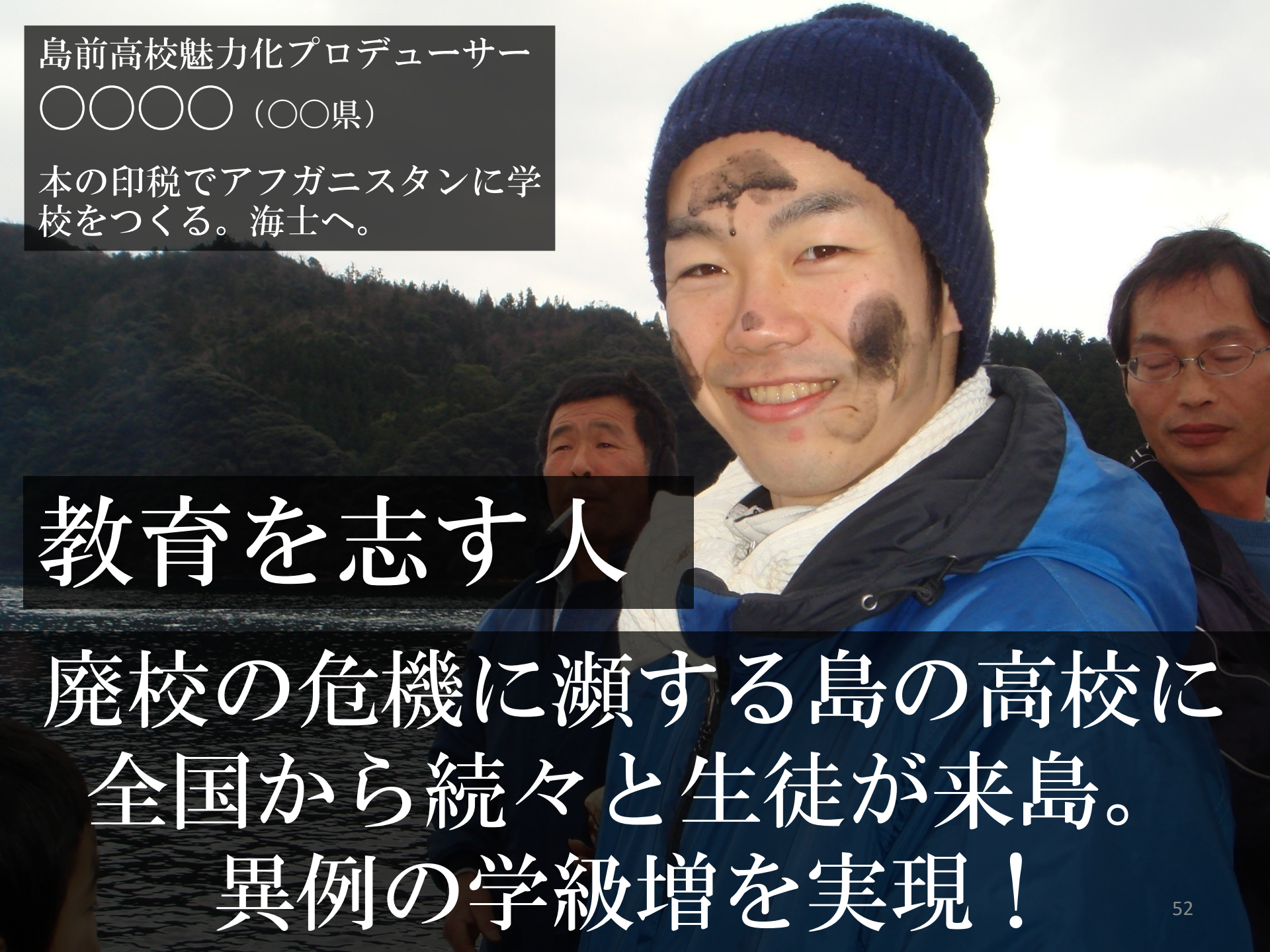
仕事は島の宝探し！　島のハーブティー「ふくぎ茶」を商品化し、障がい者の自立支援×地域ビジネスで、同作業所の賃金を3倍に。

㈱たじまや

〇〇〇〇（〇〇県）

- 大学卒業後、漁師に弟子入り
- 付加価値漁業を推進するため、島で起業
- 伝統加工産業復活「干しなまこ」を中国へ輸出

漁業を志す人



島前高校魅力化プロデューサー
〇〇〇〇（〇〇県）

本の印税でアフガニスタンに学校をつくる。海士へ。

教育を志す人

廃校の危機に瀕する島の高校に全国から続々と生徒が来島。異例の学級増を実現！

農業・畜産を志す人

隠岐牛を生産

〇〇〇〇(〇〇県)

隠岐潮風ファームに勤務した後、独立。畜産業を営む傍ら、焼肉店に勤務。結婚。

観光業を志す人

海士町観光協会

〇〇〇〇（〇〇県）

- 甲子園球児
- 学生起業家（カフェ経営）
- 世界初の携帯クリック募金開発

メディア業を志す人

情報発信に取り組む人

〇〇〇〇(〇〇県)

隠岐アイランズメディアを起業。海士町のケーブルテレビ、あまコミュニティチャンネルの番組制作に携わる。

人材育成業を志す人

株式会社 巡の環

〇〇〇〇(〇〇県)

大学院修了。民間企業入社。2008年1月「持続可能な未来へ向けて行動する人づくり」を目的に株式会社巡の環を仲間と共に設立。2011年4月より海士町教育委員に就任。

交流　ヨソモノ・若者が持っているもの、求めているもの

都市や海外との交流を通じて海士ファン急増。起業も増えてきている。

法人経営

- （有）隠岐潮風ファーム
（畜産）[16.1]
- 隠岐事務センター
（情報システム管理）[H16.4]
- （株）ふるさと海士
（地場産商品化・販売）[H17.3]
- 海士いわがき生産（株）
（いわがき養殖・販売）H18.10]
- （株）たじまや
（干しなまこ加工・販売）[H19.6]
- （株）カズラ
（散骨葬送）[H19.6]
- （株）巡の環
（メディア・新たな公）[H20.1]
- （株）隠岐牛企画
（隠岐牛店）[H20.4]
- （株）島ファクトリー
（旅行業・リネンサプライ）[H25.4]
- （一財）島前ふるさと財団
（学習塾）[H26.3]
- （株）海士伝報堂
（翻訳、メディア）[H26.11]
- （同）隠岐アイランズメディア
（放送メディア）[H27.3]
- ㈱宇野
（宿泊業、農林水産加工業）[H28.2]
- ㈱海士パワー
（発電事業）[H28.8]
- （株）隠岐桜風舎
（離島キッチン、商品開発）[H29.4]
- （株）まきはた
（畜産業、農林水産加工業）[H29.5]
- （株）AMAホールディングス
（観光DMO）[H30.5]

集落・グループ・個人

- 崎　（梅干GL）[16.11]
- 知々井　（塩辛GL）[H17.12]
- 豊田　（干物GL）[H20.1]
- さくらの家（ふくぎ茶）[H18.11]
- 大漁（漁協干物GL）[H23.3]
- 島のねーさん（菓子工房）[H27.3]

事業の波及効果

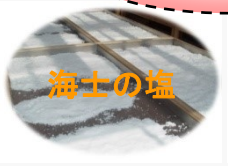
地域力 × 人間力

特産品　交流　地域づくり

産業体験・研修交流

視察、研修の受け入れ（年間）　約2,500人

地域企業との連携



世界一の梅干しづくり

地域資源活用総合交流促進施設
（廃校・廃屋等改修交流施設）

干しナマコを特産品に

処理加工・集出荷貯蔵施設
（農林水産物処理加工施設）

福来茶を特産品に

処理加工・集出荷貯蔵施設
（農林水産物処理加工施設）

いわがき春香の発展

処理加工・集出荷貯蔵施設
（農林水産物処理加工施設）

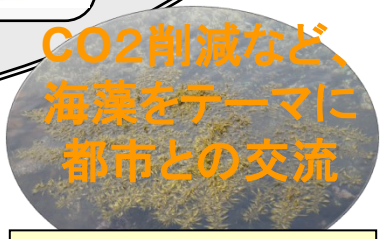
農業の若手育成支援

新規就業者技術習得管理施設
（新規就農者技術習得管理施設）

観光型定置網

処理加工・集出荷貯蔵施設
（農林水産物集出荷貯蔵施設）

CO2削減など、海藻をテーマに都市との交流

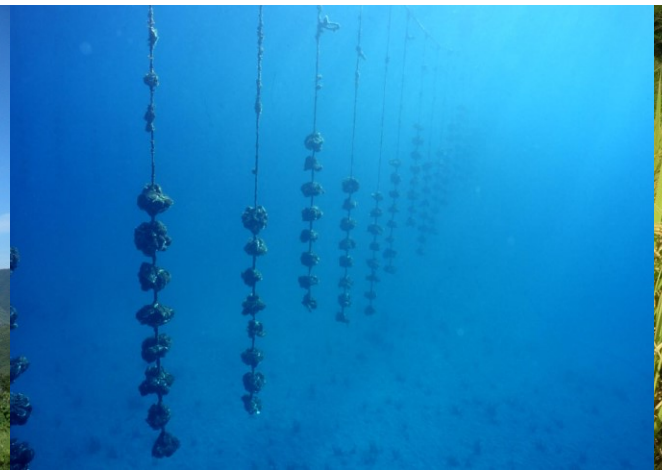


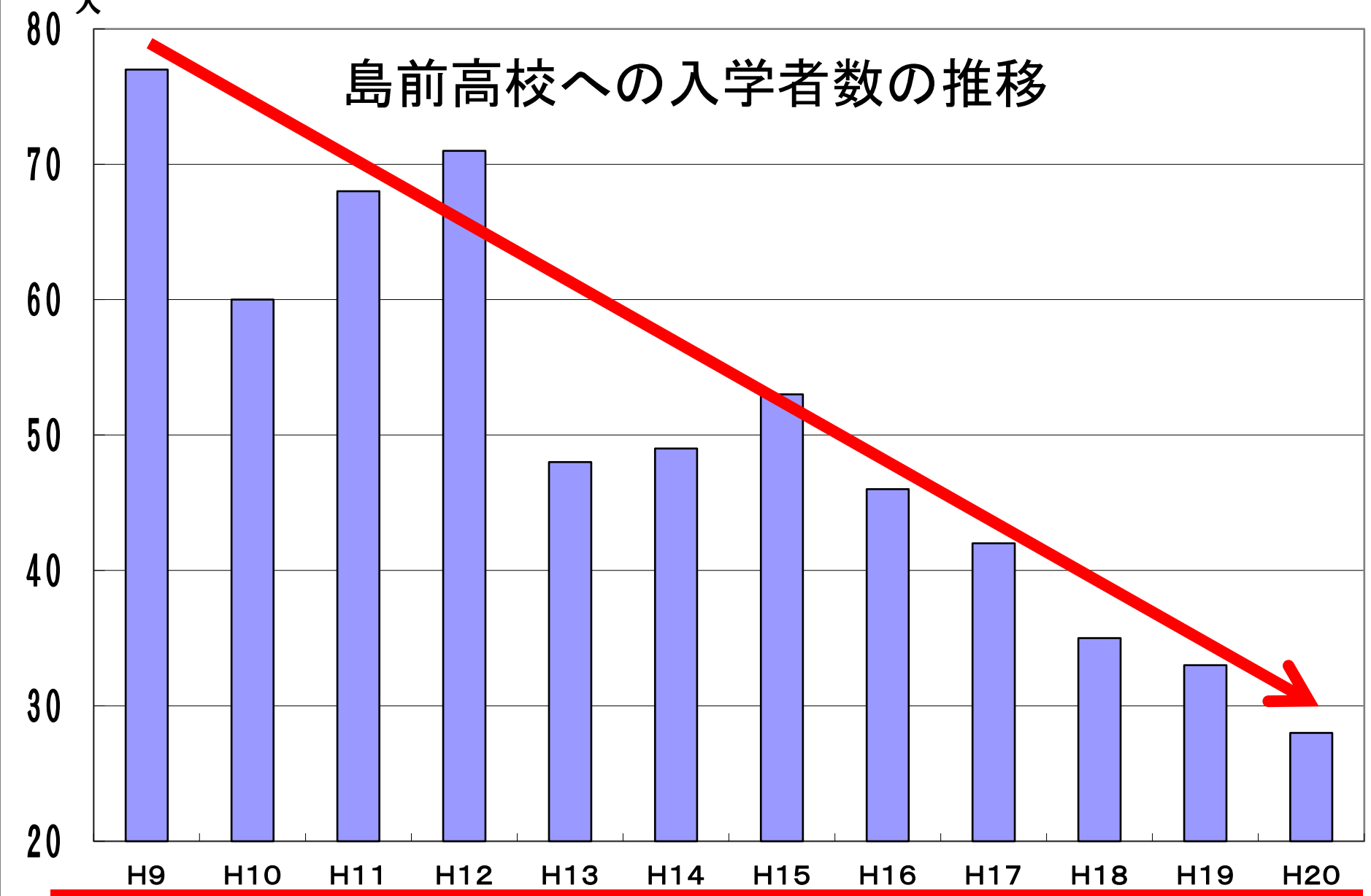
地域資源活用総合交流促進施設
（地域資源活用交流促進施設）

人づくりからのまちづくり

教育の魅力化×地域の活性化

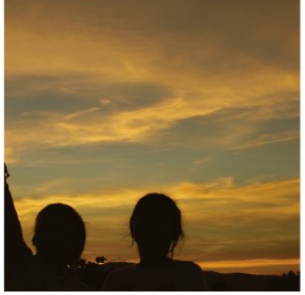
隠岐島前高校魅力化プロジェクト





地域唯一の高校の存続の危機

入学者が12年間で約3分の1（77人→28人）



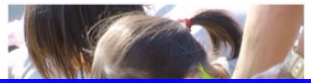
未来を創る島留学

自分らしく生きられ

したこともない体験や

ステキな人にたくさん出逢える

この島で、最幸の高校生活をすごしませんか



学力＋人間力保障

寮費も全額補助

全国から意志ある多彩な脱藩生を募集

「異文化・多様性」を持ち込み活性化させる

キャリア教育連携推進表彰（経産省・文科省）受賞
プラチナ大賞（総務大臣賞）を受賞

新入生の5割が島外から入学

東京、京都、東北やドバイなどから

進路や卒業後の動きにも変化

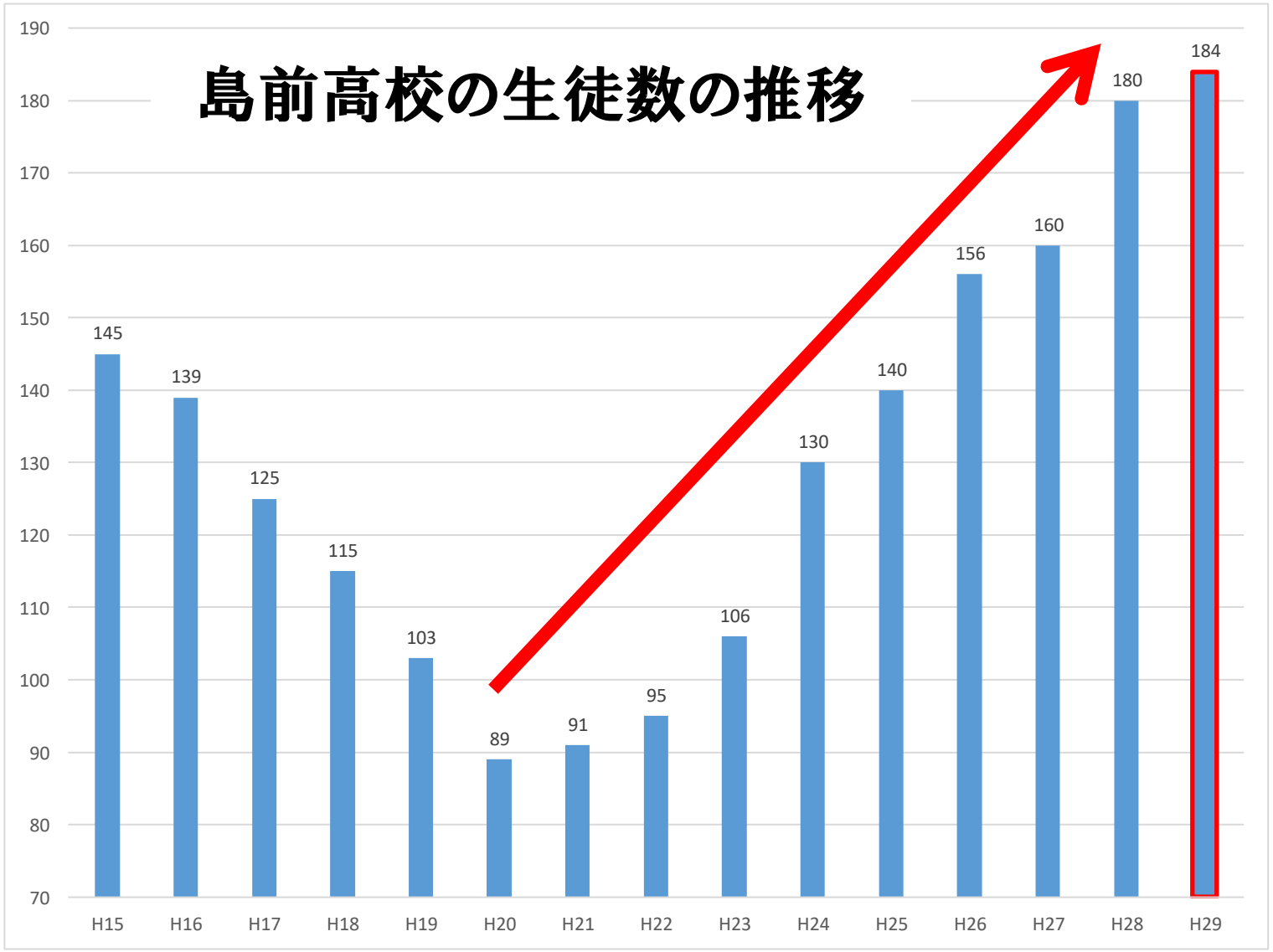
40人中2人⇒39人中13人が早・慶、国公立大等など

公立塾「隠岐國学習センター」創設

「自立学習」と学習意欲を育む「夢ゼミ」

週1回の共有会・指導方針の摺り合せ

超少子高齢化の地域で異例の生徒増・学級増・教職員増・部活増



便利な都会で → ないものはない島で学ぶ

（地域を担う海士っ子を育む）

小中教育の魅力化

福祉シェアハウス（チェダッテ）

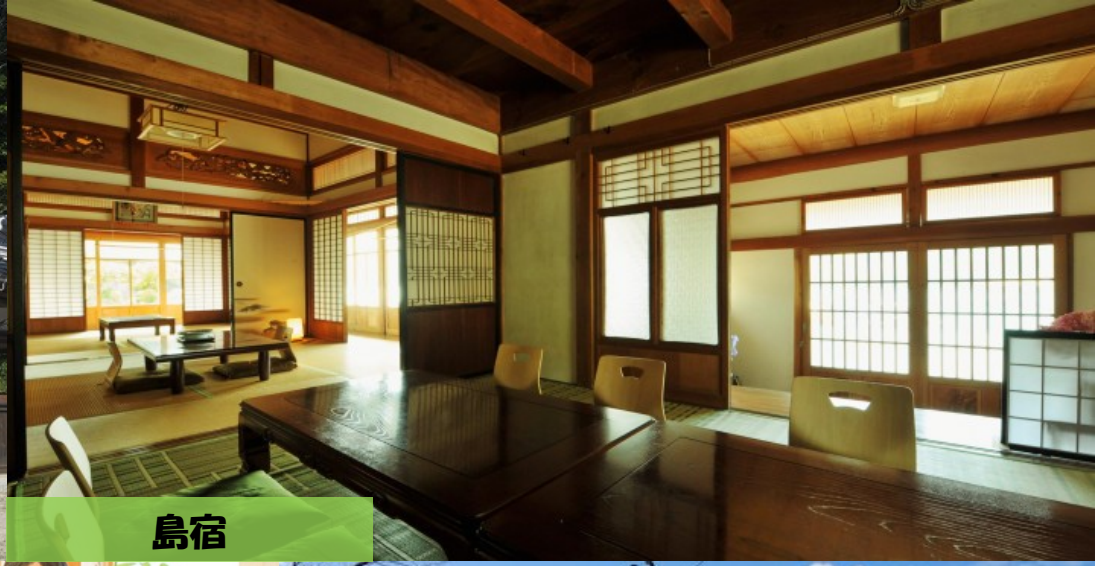
海士デトックスツアー（福祉人材確保）

出張デイサービス（こぞって）

こぞって×お山の教室

地域が頼る福祉 → 地域に頼る福祉へ
（生き生きと死ねる島）
福祉の魅力化

離島キッチン海士


島宿

海士町観光協会

クリーニング業

地域を見せる観光 → 地域を磨く観光へ
（島を繁盛させる）

観光の魅力化

ＪＩＣＡブータン研修

アメリカが一番 → わがトコが一番

（海士町×JICA　ないものはない！）

辺境同士の魅力化

2007　地域づくり総務大臣表彰
大賞（第一号）受賞

2008　にっけい子育て支援表彰
大賞受賞（日本経済新聞社）

2009 「日本で最も美しい村」連合
加盟（全国33カ所）

2013 「第1回プラチナ大賞」受賞
（自治体応募総数124件）

H14年6月～H30年5月

前町長　山内道雄

H30年6月～

町長　大江和彦（前地産地商課長）

副町長　吉元操（前総務課長）

町政の経営指針

自立・挑戦・交流
×
継承・団結

～心ひとつに！みんなでしゃばる島づくり～

これまでの町政の指針である「自立・挑戦・交流」を踏襲し、質的転換を図りながら、深みのある奥行き感のある島づくりを進め、さらに、海士に根づいた伝統文化や半農半漁の暮らしや絆を大切にした「継承・団結」の思いのもと、みんなで引っ張る島づくりを目指す。

◆自立◆

地域にある資源の価値を見つめ直し、磨き、活かしきることで、人も経済も自然環境も、循環する島づくりを進める。

◆挑戦◆

老若男女や大小を問わず、地域の魅力が高まるための様々な取り組みを応援し、粘り強く挑戦し続けられる島づくりを進める。

◆交流◆

心が通う多様な交流を重ねることで、地域への誇りや愛郷心を育みながら、新たな活力を生み出す島づくりを進める。

◆継承◆

地域の課題解決を図りながら、海士に根づいた伝統文化や方言・半農半漁の暮らしなど、田舎だからこそ豊かに暮らせる風土を継承する島づくりを目指す。

◆団結◆

海士町の置かれた状況を再確認し、評価と反省の上に立って、世代や立場を超えて寄り合い、助け合い、意見を交わしながら、楽しく幸せに生きる島づくりを目指す。

海士町　半官半Xという多様な働き方を実践

地域に飛び出し、地域課題の解決に取り組むスーパー公務員を創出

半X活動（兼　業　型）

- ✓ **職員がやりたい事　※希望制（給料減額）**
- ✓ 特別休暇＋営利企業等に従事する許可制度を活用

半X活動の例

・水産（イカ釣り、かなぎ）
・農業（田、畑）
・畜産（牛飼い）
・遊漁船（営業）
・商品開発（お菓子づくり等）
・IT関連（起業）
・家庭教師
・観光イベント　など

※職員が趣味や特技を活かした活動。
地域のためになる活動であることが条件。（条例第4条）

特定半X活動（公務拡大型）

- ✓ **職員が業務の一環として従事できる**
- ✓ 町長が職員にやらせることができる

特定半X活動の例

・後鳥羽院顕彰事業等、町のｲﾍﾞﾝﾄ
・崎みかんPJ・海士ワインPJ
・土木工事（災害復旧工事等）
・農地保全、拡大
・神楽・民謡等伝統文化
・急患搬送（船舶免許保有者）
・ｽｸｰﾙﾊﾞｽ等運転（免許保有者）
・ベビーシッター・デイサービス
・配食サービス・部活動指導
・民間、三セク、法人、組合支援
など

※半X活動と異なり、「緊急性」「公益性」がある。（条例第8条）

海士町が取り組む”外貨創出”とは

稼ぐ海士町を実現！　AMAホールディングス株式会社

観光、教育、産業、行政などそれぞれの分野の中で、
より早い意志決定、より強い連携を行うため、
海士町長を代表取締役として設立。
海士町の「攻め」の政策を担う事業会社として、
外貨獲得および**町内還元**のため、現在は

◎ふるさと納税事業
◎未来投資事業（未来共創基金）
◎わがとこバスツアー事業

を主な事業としている。

まちづくりを行政主導型から官民連携型にシフト
（民が官の仕事をする、これもまさに半官半Ｘ）

設立	２０１８年
資本金	３０００万円
株主	海士町100%
役員	取締役４名（島内民間経営者３名）
従業員	フルタイム２名、業務委託２名
事務局	海士町役場３名

代表取締役
大江和彦
海士町長

半官半X

事務局
柏谷猛
海士町交流促進課長

外貨創出

事務局
岡部有美子
コミュニティガーデニング（委託）

関係人口

取締役
大野圭祐
島前高校学校経営補佐官

島の営業部

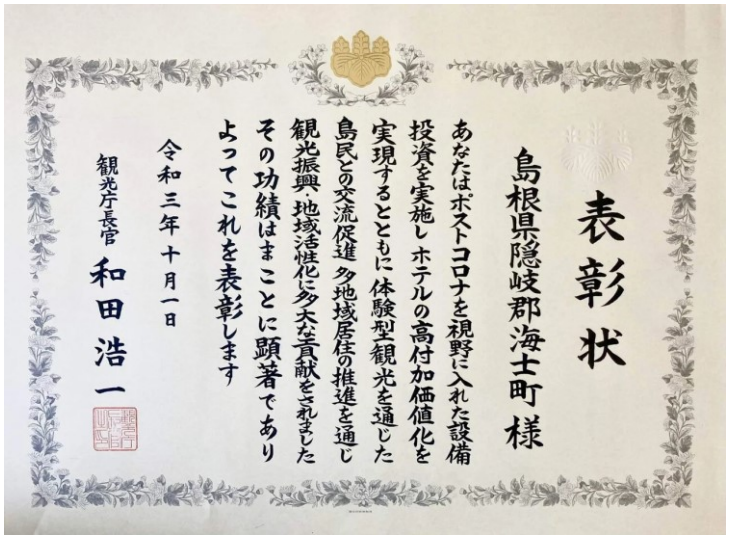
取締役
青山敦士
㈱海士代表取締役

島の投資部

取締役
阿部裕志
㈱風と土と代表取締役

島の広報部

隠岐ユネスコ世界ジオパーク　泊まれる拠点施設　Entô



表彰状

島根県隠岐郡海士町 様

あなたはポストコロナを視野に入れた設備投資を実施しホテルの高付加価値化を実現するとともに体験型観光を通じた島民との交流促進多地域居住の推進を通じ観光振興・地域活性化に多大な貢献をされましたその功績はまことに顕著でありよってこれを表彰します

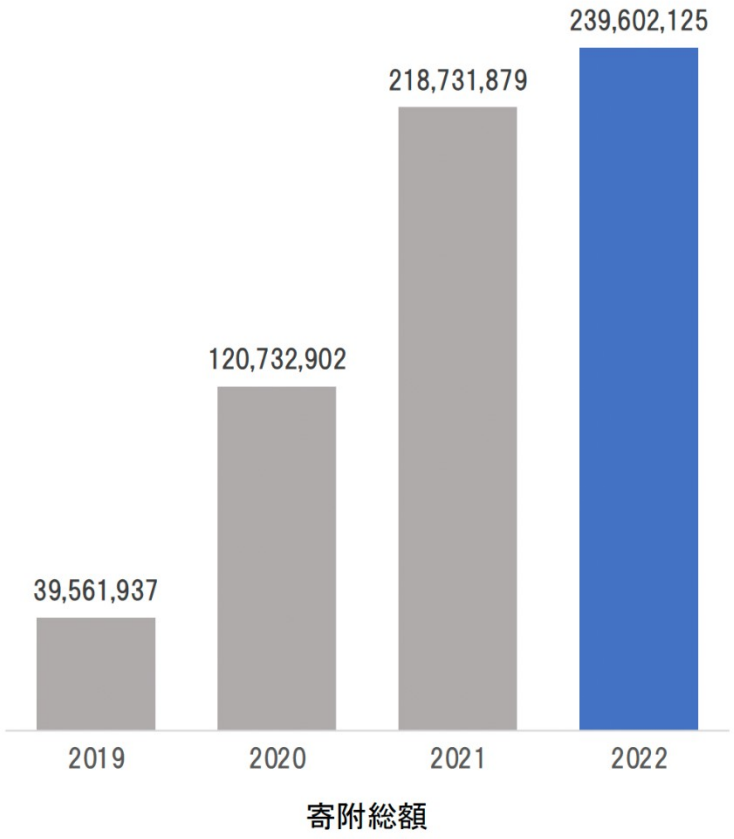
令和三年十月一日

観光庁長官 和田浩一

海士町が取り組む”外貨創出”とは

稼ぐ海士町を実現！　ふるさと納税寄付額の推移

2022年ふるさと納税事業サマリ



寄附総額

239,602,125円

前年比

+109.5%

産品寄付額

195,242,912円

前年比

+101.1%

注力商品昨対差引額

27,596,234円

平均成長率

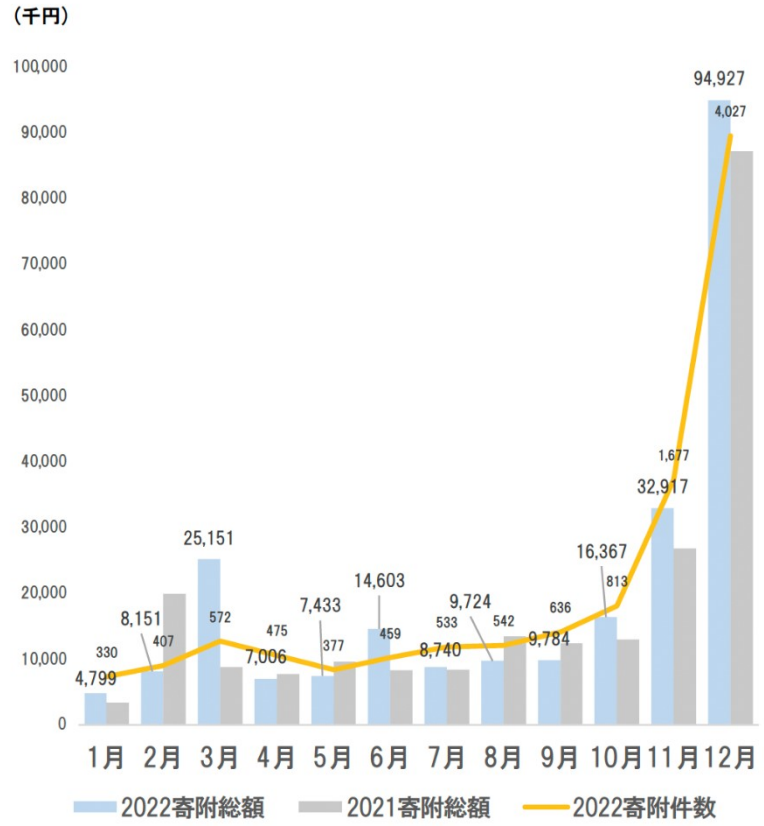
+122.1%

海士町が取り組む”外貨創出”とは

稼ぐ海士町を実現！　ふるさと納税寄付額の推移

2022年ふるさと納税実績

2022年実績（寄附総額：239,102,125）



2022年実績値

寄附総額：239,602,125円　→　目標1.9億円：126%達成

寄附件数：　10,848件　→　目標10,455件に対し104%

企業版　：　29,150,000円

産品　　：　195,242,912円

産品実力値 → 目標1.9億に対し102%着地

顧客単価：22,087円（作対比111%）

新規顧客：7,311件（昨対比97%）

【達成要因】

・産品欠如マイナス分を補う施策

・マーケットの拡大

・メディア、イベント出展での認知拡大

稼いだ外貨を地域に還元する仕組み　使い方にも工夫

集まったふるさと納税は、行政予算に取り崩すだけではなく
町民の皆様が“島の未来を創る”ための地域振興事業にチャレンジする仕組みを構築

条例を改正し、ふるさと納税の寄付額の一部を原資とした

未来共創基金

を設置

未来共創基金は、熱量をもった町民の誰もがエントリーできる。

島の未来を創る事業提案に対して
挑戦内容を客観的に審査する機関として

一般社団法人海士町未来投資委員会

を設立
未来投資委員会の理事には、海士町と関わりの深い方々で
資金援助に向けて事業へのアドバイスなど、伴奏者として寄り添いながら事業を応援。

寄付された皆様に対して、定期的に事業の進捗状況を報告することにより、寄付された皆様が
海士町の挑戦に応援団として関心を寄せていただくことで、関係人口の拡大に結びつくものと期待。

未来共創基金で採択された“島の未来を創る”事業

一般社団法人
海士町
未来投資
委員会

2021年度事業

ナマコとともに生きていく

なまこ漁師会

2021年度事業

海が好きになるマリンボート事業

宇野将之

2022年度事業には、13件のエントリーがあり、最終的には8件の事業申請（5件は辞退）
一次審査では、8件のうち2件の事業が通過し、年明けの2次審査に向け、現在、事業の磨き上げをしている。

働き方をデザインする“海士町複業協同組合”

海士町のマルチワーカーをモデルとして創設された
特定地域づくり事業の法律制定に基づき
“海士町複業協同組合”を全国第一号で設立

同組合は、複数の事業者が連携し、季節毎の仕事量に応じて組合職員を派遣するもので、
年間を通じた雇用と人材育成に取り組む組織。

こうした働き方は、海士町が古来から行ってきた半農半漁という暮らし方に類似する。

役場並びに組合職員自らが、海士の歴史や風土に学びながら、合わせ技で働き方をデザインし、
チャレンジしていくことで、町内事業所はもちろん、地域の価値や魅力が高まり、
UIターンの促進に大きく寄与するものと考えている。

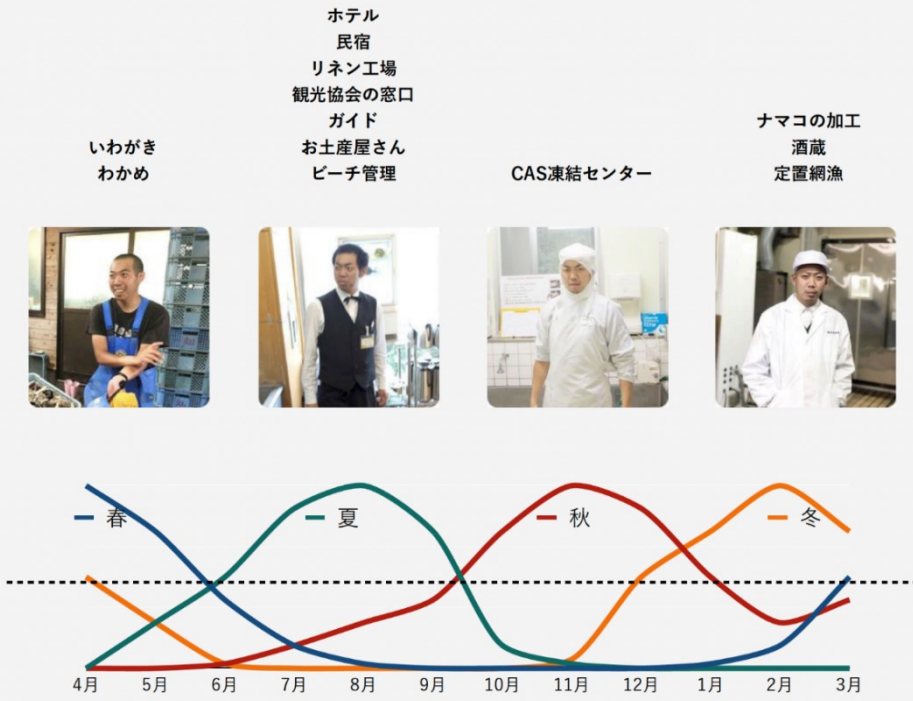
働き方をデザインする“海士町複業協同組合”

AMU WORK

新しい働き方
ライフスタイルの提案

「業種」で考えるのではなく
そもそもの暮らしから考え直して
新しい働き方、ライフスタイルの提案という視点で
マルチワーカーを考案。

※当時は海士町観光協会



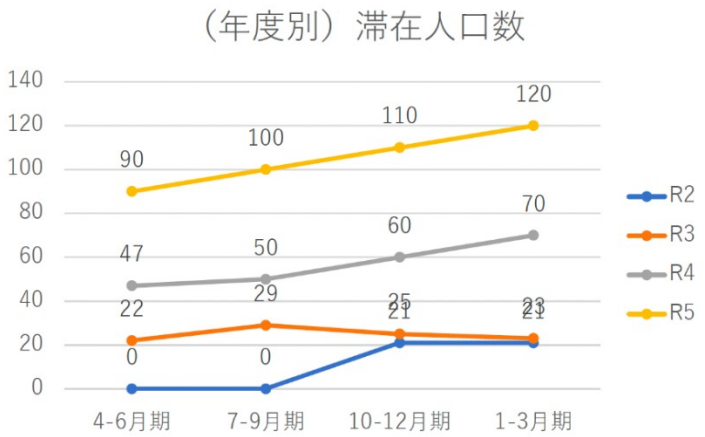
離島が身近な場所に　大人の島留学

大人の島留学事業による滞在人口数（R2～R4）

■令和２年度
大人の島留学生（10～3月）21名
うちR３年度就職が3名、延長が3名
R４年度就職が1名

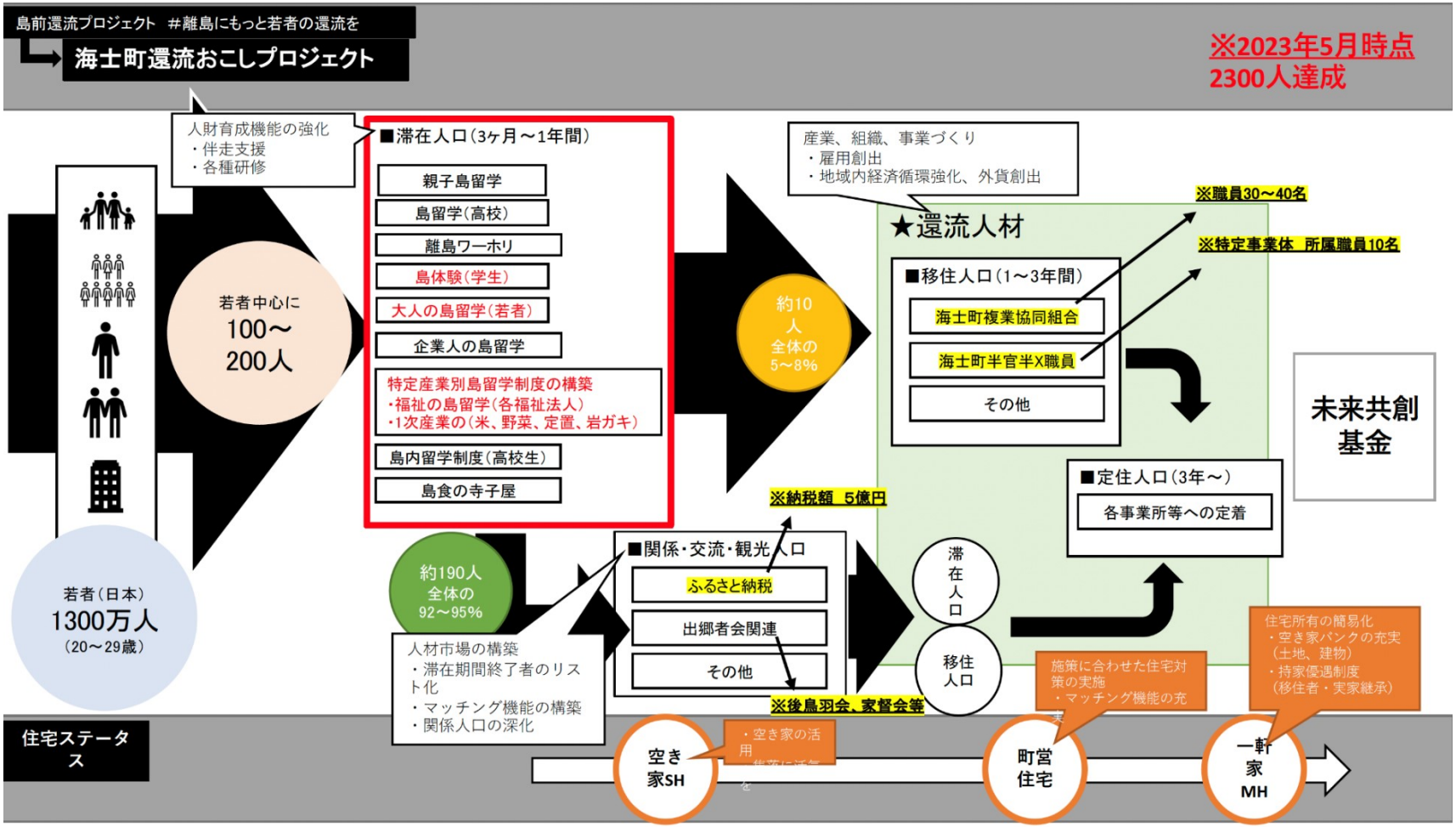
■令和３年度
大人の島留学（4～3月）14名
島体験生（4～6月）10名
（7～9月）10名
（10～12月）11名
（1～3月）9名
合計54名
うちR４年度就職が4名、延長が1名また、知夫での就職が1名

■令和4年度
大人の島留学（4～3月）20名
島体験（4～6月）27名　※うち17名が滞在を延長
（7～9月）13名　※うち5名が滞在を延長
（10～12月）20名
（1～3月）15名　※予定
うちR5年度就職や延長検討中の方がが現在20名程度



■令和5年度（計画）
大人の島留学（4～3月）40名
島体験（4～6月）30名
島体験（7～9月）15名
島体験（10～12月）15名
島体験（1～3月）15名
複業島留学　20名程度

離島にもっと若者を　人材の還流おこしプロジェクト



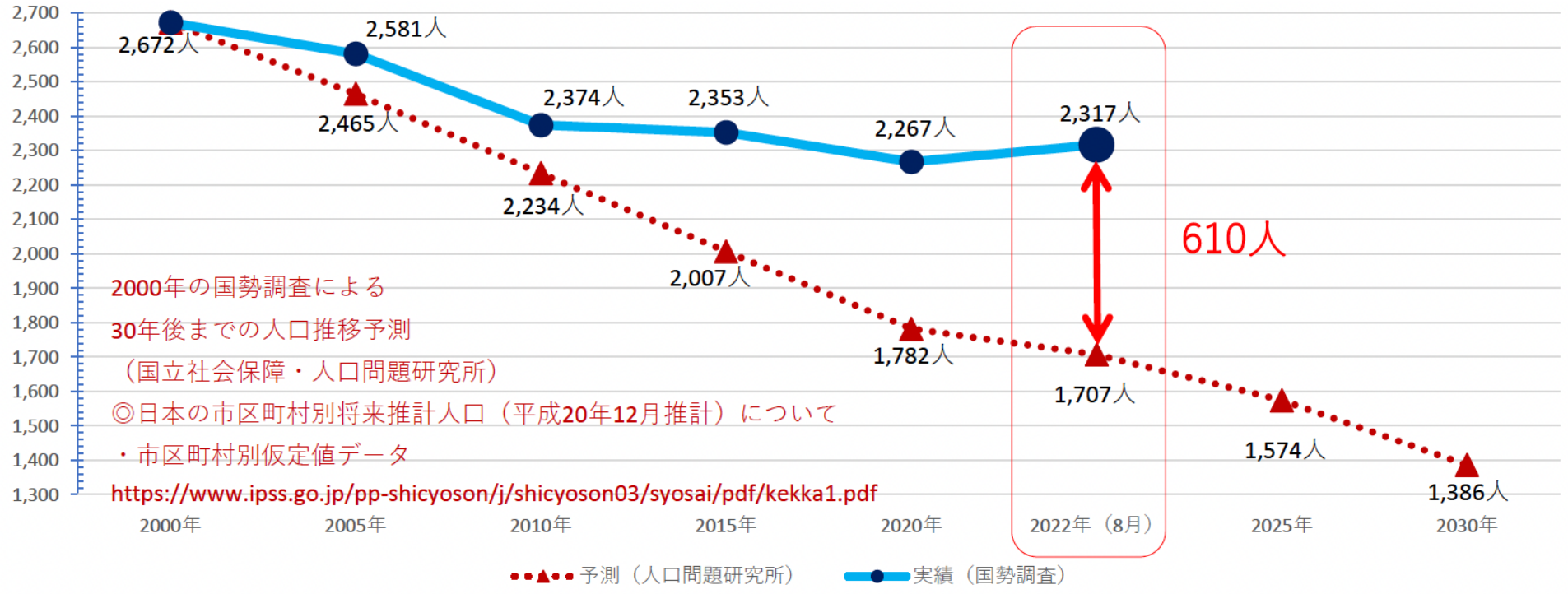
人口の推移

人口減少へ歯止め

令和2年国勢調査
（2020年10月）
2,267人

→

令和4年島根県公表値
（2022年8月）
2,317人



大きく覆した人口減少予測

1707人 → 2317人

［2022年推計］（2000年時点での人口推計）

［2022実態］（2022年島根県公表値）

年間平均出生数

8人 → 18人 → 15人

［2003年～2005年］ ［2013年～2015年］ ［2020年～2022年］

※2022年:14人 2021年:17人 2022年:14人（計:45人）

祭で神輿を出せる集落の数（全14集落）

5集落 → 10集落

［2006年］ ［2022年］

※菱浦、福井、中里、東、北分、宇受賀、豊田、保々見、御波、崎

～心通う交流が新たな挑戦を生み出す～

地方創生に取り組む姿勢

- 自分たちの地域は自ら守り、地域の未来は自ら築く！
  （それが自治の原点。危機意識の共有。）
- 島にある資源を磨き、島の個性を最大限に活かす！
  （あるものを活かせ。）
- 地域活性化の源は「交流」に有り！
  （異質なものを取り入れ、多様性をもち、互いに変化し成長する。）
- 若者・よそ者・馬鹿者が「連携」すれば地域は動く！
  （とにかく動く。動けば必ず変わる。）
- 地方創生の究極は、人材育成と人材の定着化！
  （地域づくりは人づくり。）

さらなる挑戦　町民一人ひとりが幸せを実感できる島を目指し

海士らしく　みんなでしゃばる！
承前（しょうぜんけいご）啓後の島づくり

海士に根づいた伝統文化や半農半漁の暮らし・絆・風景、そして人情、こうした島に蓄積されてきた大切なものを受け継いで、未来を切り拓いていく。いわゆる「承前啓後」の精神を根底に据え、世代や立場を超えて、寄り合い、助け合い、意見を交わしながら、**「町民一人ひとりが幸せを実感できる」**海士町を目指し、全身全霊で取り組みます。

★4年間で重点的に取り組む3つのキーワード「かん」

ひとの還流

若者が関わり　たくなるような　魅力ある島

★教育の魅力化や大人の島留学などを通じ、出郷者や若者がこの島に関わるためのきっかけとなる「還流」施策を進めます。
★土木建築業の職人、医療福祉の専門人材、農家や漁師、事業承継など、各事業所がこの島で持続的に生業が続けられるよう、担い手の創出や後継者育成を支援して参ります。
★先人が半農半漁の営みを島の風土として守ってきたように、複業や半官半X、デジタル技術変革（DX）といった合わせ技を持って、この島だからこそ成り立つ新しい働き方を推進することで、海士らしい事業の継続と拡大を図ります。

暮らしの環境

誰もが家族のように　支え合い　安気に　楽しく暮らせる島

★性別や年齢、立場を超えてあらゆる人が大家族のように支え合いながら、安心して生き生きと暮らせるよう、様々な立場の方々の声を聴く場を設け、多様な顔ぶれの組織づくりと活動を後押しします。
★安心して出産・子育てができる環境を支援し、子どもがいても起業や社会活動に積極的に参加できる環境を構築します。
★高齢者向けのバリアフリー型町営住宅を新たに建設し、安心して老後を過ごせる環境を整えます。
★自宅以外でも葬儀を執り行うことができるよう、斎場の一角に簡易葬祭場を建設します。

里山里海の循環

あたりまえの豊かさを　活かし　その味わいを　次の世代に繋ぐ島

★樹木の間から木漏れ日が差し込み、元気よく野山を歩き回る親子の牛たち。手入れの行き届いた美しい山々を背景に、ひと里には、しゃん山と田圃が広がり、豊穣の浜へと繋がる長閑な島、海士町。代々家族で見てきた「あたりまえ」の風景と恵み、その価値を子供達や観光客など、次の世代にしっかりと繋いでいくための施策を推進します。
★海と山の循環をより豊かにするため、これまで活かしきれていなかった地域資源・自然資本にも着目し、「ないものはない」の精神で環境負荷の低い再生可能エネルギーの普及促進を図り、脱炭素の取り組みを積極的に行います。

R5新体制！「還流」「環境」「循環」を推進するプロジェクトリーダーを募集します！

スローガン

だっでもあんきにおもっしぇ島に！

・「還流」「環境」「循環」の推進による魅力的な地域づくり　・若者に選ばれる、若者が集う島

公募

	ひとの還流	暮らしの環境	里山里海の循環
チーム	還流促進課（仮称）	暮らしの環境課（仮称）	資源循環課（仮称）
やること	新たな人の流れづくり	半官半Xの推進	懐かしき未来づくり（失われた原風景の再生）
	働き方のデザイン	暮らし方のデザイン	ワクワクする楽しみ方のデザイン
	新しい挑戦づくり	健康づくりPJ	里山里海PJ（持続性の追求）
	新しい旅のデザイン	医療・福祉人材の確保	島の経済循環拠点PJ（Ex:製材ほか）
リーダー	リーダー募集①	リーダー募集②	リーダー募集③
連携組織	（一財）島前ふるさと魅力化財団 海士町複業協同組合、商工会　etc	役場各部署、海士診療所、福祉施設、 海士町サポートセンター　etc	ぐるぐる会議、交交、トビムシ、 三菱重工、（有）イーズ　etc

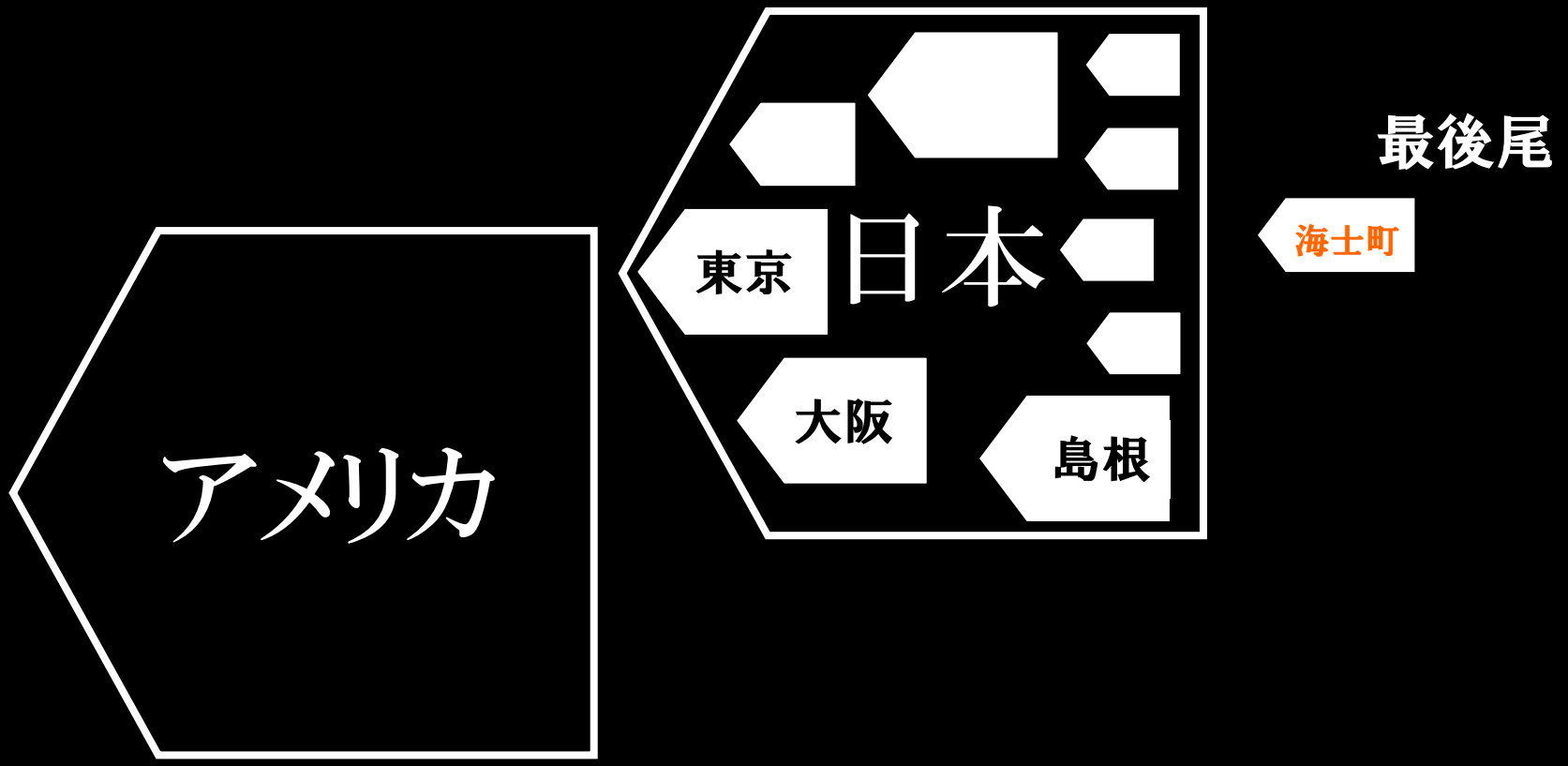
	官民共創特命担当（仮称）	郷育特命担当（仮称）
やること	島の還流DX／外貨創出	島の伝統文化継承と魅力化
	還流PFの構築 / 第2の役場構想 / ふるさと納税 未来共創基金	ふるさとを想う人づくり / ジオコンテンツPJ
リーダー	リーダー募集④	リーダー募集⑤
連携組織	AMAホールディングス（株）、（一社）海士町観光協会、 （株）海士、（株）島ファクトリー、（株）隠岐桜風舎	JICA、後鳥羽院顕彰事業実行委員会、（株）隠岐桜風舎、 （一社）隠岐 隠岐ジオパーク推進機構

各事業所との連携
（新社協・JA・春香・CAS・隠岐牛他）

半官半Ｘ特命担当／地産地商課／いわがき春香特命担当／福祉魅力化特命担当／海士診療所
健康福祉課／総務課／会計課／議会事務局／財政課／住民生活課／環境整備課／共育課

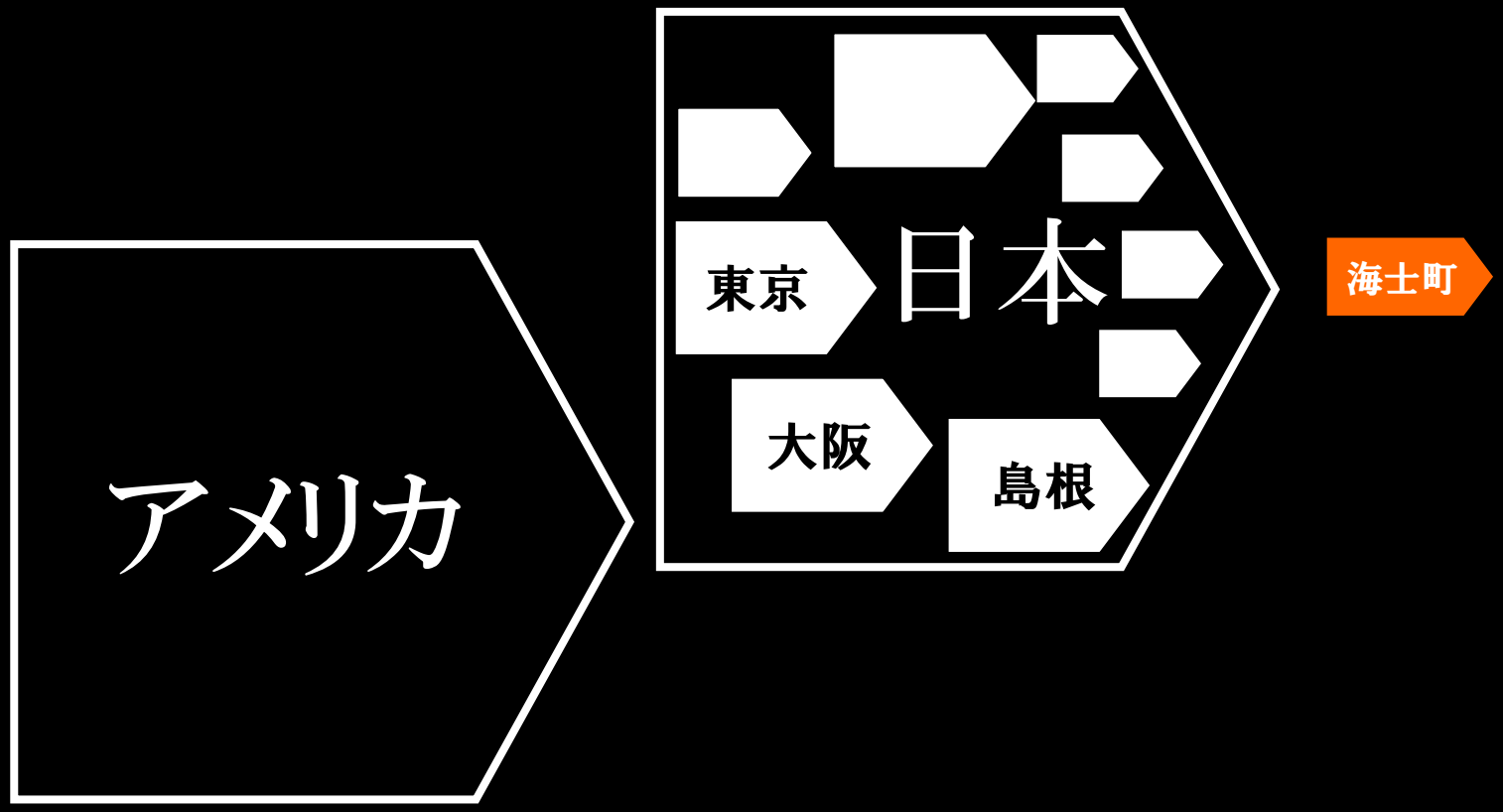
住民・関係人口との連携
（しゃばる感の醸成）

明治～高度成長期イメージ



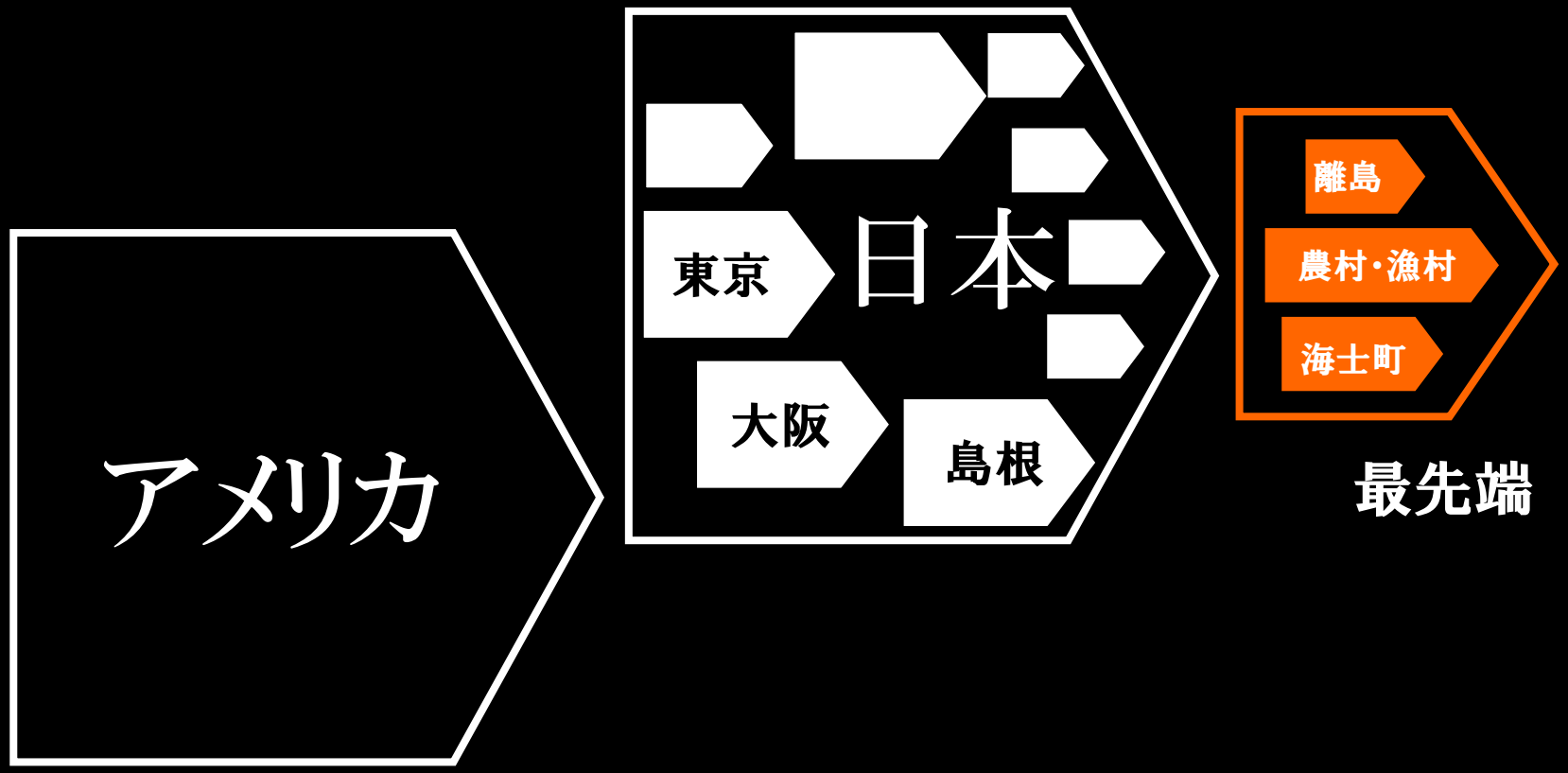
これから

最後尾から最先端へ
持続可能社会へのタグボートへ



これから

島・地方から日本の未来を変えるモデルづくり



ピンチはチャンス！
ハンディキャップを
アドバンテージに！

官民一体！ 地域一体！

海士町の生き様・心意気

①「ありません」

便利なものはなくてよい

②すべて「あります」

人が生きていくために
大切なものはすべてここにある

③なければ創れば良い

みんなで創る過程にこそ
意味がある
（思い出づくり）

自立・挑戦・交流
継承・団結

～心ひとつに！みんなでしゃばる島づくり～

（みんなで引っ張る）

自立に向けた挑戦に終わりはない！これからが正念場。
引き続き、ご支援、ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。